京城日報

十日夕刊
定價 本紙一部金五錢 一ケ月金六十五錢 (郵税共)
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 巻口政太郎
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 [illegible]

南方の要求總て容れらる 龍濟光將軍に宛て長文の電報を發せり(北京特電)

七日總統府會議の結果此際南方の要求を總て容るゝに決し龍濟光將軍に宛て長文の電報を發せり(北京特電)

更に一箇月の停戰

袁總統は四川及び湖南に於て更らに一箇月停戰を繼續するに決し八日四川將軍と各司令官に通告せり尙ほ北京日報に依れば政府は陳四川將軍に打電し蔡鍔氏に對し更らに一箇月停戰を繼續する樣交涉すべきことを命せりと(北京特電)

南北双方の畫策

中央政府は停戰して其の間妥協の交渉を進めんとし南方は其間に各地の獨立を促し兵力を用いずして袁總統を窮地に導く計畫なりと(北京特電)

獨軍ホークールに勝つ

獨軍はホークールの南方に於いて一哩に亙る新壕を奪取し七百十四名の俘兵を捕虜としホークールと二八高地との間に於て二個の砲壘を占領し更に大軍はボージユ河を通過せり(紐育電報)

軍人後援會令旨

十一日京城にて式を擧げらるゝ帝國軍人後援會朝鮮支會發會式に伏見總裁宮殿下より令旨傳達の爲め小原政営氏十日朝聯絡船新羅丸にて著釜午前十時半發列車にて京城へ向へり(釜山特電)

加藤參事

鐵道局參事經理課長加藤平美氏十日朝内地より釜山著直に北行列車に搭乘歸任す(釜山特電)

滿洲の嚴戒 袁總統よりの密旨

目下病床に横臥中なる段將軍は頃日袁總統の密旨を啣みて來奉せる二弟段香谷の報告に依り北京の事情を承知したるが帝政取消は今更是非もなしとして袁總統の退職は飽まで之を防ぎ凡て現狀維持の下に時局の回轉を圖り南軍我意を張る時は斷然武力を以て討滅すべき事に決し種々其の方策につき議する所ありたりと傳へらる然るに滿洲にも乾黨員入込み宗社黨と氣脈を通じ形勢日増に不穩を加へ來れるのみならず東蒙に於ける巴布札布軍の勢力も案外侮るべからざるものありとの情報に接し

▼段將軍の苦慮 一方ならず病床に股肱の部下を集め段香谷と共に累次凝議の結果、此際嚴密なる手段を以て集會結社を禁止し一方密偵を増加し滿鐵附屬地內其他に亙りて出來得る限り探査の歩を進め怪むべき者は容赦なく之を逮捕して嚴罰に處し猶ほ軍用金を得る爲め先づ急速に戸口調査を行ひ以て内債募集を行ふことに定めたりと以上は固より外間の揣摩說なるも段將軍が袁總統の密旨を受けたる事、其の密旨の中に極力滿洲の治安を維持し事變勃發の憂なきを期せよとありしは疑ふべからざる事にて之が爲め部下軍隊の戒飭、盜賊に對する訓示等頻りに行はれつゝあるは事實なり

▼張作霖の態度 は此の場合最も注意すべき問題にて段將軍も張の一擧一動には深甚の注意を拂ひ居るが如し張將軍は此程段に對し東蒙の形勢甚だ不穩なれば予は二十七師を提げて東蒙に赴き其の防備の任に當らん奉天には鎭守使吳俊陞を呼び寄せ彼をして予に代らしめよと申出でしに段は是れ虎を野に放つが如しと稱して遂に之を許さゞりしとの風説あり眞僞は保證し難きも時節柄一顧の値あるべし(大連)

道長官會議(最終日)

各道長官會議第六日は十日午前九時より總督府第二會議室に開會、十三道長官は勿論寺内總督、山縣政務總監以下各部長官、所屬官署局長各課長等參列し總督の指示ありて正午過ぎ一と先づ休憩午後一時半より總督の訓示ありて三時閉會せり、之にて今回の長官會議は無事終了せり

道長官歸任期

道長官會議は十日終了せしは別項記載の如くなるが滯京中の道長官は用務繁多にて總督府並に所屬官署に就き交渉打合等の事項尠からざる由なれば中には一兩日中に歸期の途に上るものあらむも全部退京を見るは早くとも三四日後なる可しと

京都より 青霞生

▲曠古の大典に行啓を仰ぐを得ざりし國母陛下を新に迎へ奉りし京の春はげに光榮に輝けり。

▲今早朝大阪より京に入り嵯峨に到る、大堰川の清流を隔てゝ嵐山を眺むれば櫻花未だ綻ばざるも薄紅の梢の色常盤木を作つて一幅の畫圖を作る滿山花となるは十三日頃なるべし

▲此日 皇后宮は大谷伯の別莊對嵐房に行啓、東宮亦武庫離宮より行啓あり、御親子御對顏嵐山の景趣を賞させ給ひ兩法主法嗣裏方等に賜謁あり御晝食を共に聞召され種々な御物語あり御輿後からざりしと承る

▲對嵐房の二階には床に昭憲皇太后御詠の御色紙を掛け、堆朱の卓を置き、古銅白瓷の香盒を飾られ、古筆の伊勢物語五卷、廣澤池の盆景等を置き、花活には白百合と獅子椿を挿まる、三階の床には吳春の春林牡月の圖を掛け、後西院御宸翰の歌仙手鑑を置き、關東赤ほけ杜松等の盆栽を飾られたり。

▲兩宮を奉送して歸途臨濟本山天龍寺を訪ふ、六日より釋門の偉僧峨山和尙十七年忌大接心會を營み居れり各派の管長師家居士等多く參集して殿に溢ける看經鈴の聲に洛西の空は法縁の春霞かなり、師や在世僅に四十八年、道名高く大伽藍を再建して宗風を一代に顯揚したり、師の德を追憶するは實に末世の淸涼劑。

▲京都の黄昏は鐘の音も灰色にかすみて四條あたり路ゆく人の紫の傘もヴエール花の霞、鴨川の流も裳に艶に祇園の夜櫻も近く咲き出で、殿して淺緑の柳眼、春の夕は人皆美しく、とりわけ三十六峰笑むか如く人を迎ふる京の春は親しむに足るものあり。(四月七日)

府協議員推薦

府協議員は各地とも本年四月七日を以て任期滿了せるより府所在の道長官は其れ〳〵後任者を推薦し豫て總督府に其認可方を申請し來り居たるが總督府にては詮議の上過般總督の決裁を經たりとの事なれば各府とも近く其發表を見る可し

京城府協議員

京城府協議會員は左の如く決定し十一日午後一時より府廳上に於て辭令の傳達式を行ひ第一回の會合を爲す筈なるが總數十六名の中内地人一名は今尙ほ人選中にて未だ決定せず缺員のまゝ左記十五名に對し辭令を交附すべしと

▲新任 白完爀、閔裕植▲重任 大久保雅彥、韓相龍、古城菅堂、趙鎭泰、和田常市、山口太兵衞、原勝一、安商浩、朴齊斌、中村再造▲任期中 白寅基、金漢奎、執行猪太郎▲免職 金鎔濟、高宗錫

渡臺者出發期

過般臺灣勸業共進會並に殖民地施政狀況視察の爲め渡臺を命ぜられたる總督府學務局長關屋貞三郎、同商工課長青木戒三、同鑛務課長平井三男三氏は何れも十五日朝南大門驛發汽車にて出發門司より稻葉丸に搭乘渡臺の筈なり視察期間は三氏共多少の相違ある可きも一箇月内外なりと因に持地土木局長も亦渡臺の筈なりしが氏は病氣引籠中なれば見合せの止むなきに至る可しと

赤愛新支部長

各道長官の更迭に伴ひ赤十字、愛國婦人會朝鮮本部各支部長も變更することゝなり左の諸氏は此程總裁宮殿下より各領書の通り支部長顧問を囑托せられたり

赤十字社
京城支部長 京畿道長官 松永武吉
淸州支部長 忠淸北道長官 柳[illegible]
全州支部長 全羅北道長官 李軫鎬
光州支部長 全羅南道長官 宮木又七
大邱支部長 慶尙北道長官 鈴木隆
平壤支部長 平安南道長官 工藤英一

愛國婦人會
京城支部顧問 京畿道長官 松永武吉
淸州支部顧問 忠淸北道長官 柳[illegible]
全州支部顧問 全羅北道長官 李軫鎬
光州支部顧問 全羅南道長官 宮木又七
大邱支部顧問 慶尙北道長官 鈴木隆
平壤支部長 工藤三重子
同 顧問 平安南道長官 工藤英一

白井少將赴任

白井旅團長は十日午前八時三十分南大門驛發汽車にて家族同伴赴任の途に就けり、同驛には井口軍司令官、石塚長官、森武官、兒玉局長、野田東拓副總裁、原田朝郵社長、林東拓理事、水越木村兩鮮銀理事其他官民有志多數の見送りありたり

佐藤參謀長視察

第九師團參謀長佐藤步兵大佐は管内各部隊視察の爲め十一日龍山出發先づ元山に至り十三日歸來同夜直に北行新義州、平壤方面各部隊の視察を爲し十六日歸任の豫定なり

海實大佐出發

駐劄軍副官より靑森第五聯隊長に轉補したる步兵大佐海實精氏は十日午後七時五十五分龍山發列車にて赴任す

岩田師團軍醫部長

羅南衞戍病院長より第十九師團軍醫部長に陸軍二等軍醫正岩田末彦氏は八日午後著任せり

竹内高級副官登廳

駐劄軍高級副官に新任の竹内榮喜中佐は十日登廳したり

ウード氏歸國

二十年來京城に在任布教に從事し居たるスヒビテリアン派米國宣教師アンダーウード氏は病氣の故を以て今回任を辭し十日午前八時三十分南大門驛發汽車にて歸國の途に就けり同驛には石塚長官、小松翰長、兒玉局長、油邊秘書官、外國人宣教師等の外官民有志等多數の見送りありしが尙ほ總督府內高等官有志は記念の爲め銀製花瓶一對を寄贈せり

各警務部長宿所

十一日より開會の各道警務部長會議の爲め入京せる各道警務部長の宿所左の如し

京畿(憲兵中佐)	龜井實三郎	不知火
忠北(同)	伊東七四郎	朝鮮ホテル
忠南(同少佐)	井[illegible]大[illegible]	本
全北(同)	服部米次郎	尾上
全南(同大佐)	[illegible]	山
慶北(同上)	藤澤[illegible]	同
慶南(同中佐)	[illegible]	同
黄海(同少佐)	川[illegible]	上
平南(同中佐)	[illegible]	朝鮮ホテル
平北(同少佐)	[illegible]	同
江原(同)	[illegible]	本
咸南(同中佐)	[illegible]	上
咸北(同)	水間春明	本

仁川記念章傳達式

仁川府廳樓上に於て十日午前十時より大禮記念章及び同記念章傳達式を擧行し久水府尹以下千係官吏列席の上其々交付を了せり

元山

▲山口少將通過 四月一日附を以て少將に昇進歩兵第三十旅團長に補せられたる元歩兵第三十六聯隊長山口平吉氏は八日午前九時第三琴平丸にて上陸元山守備隊に於て告別式を行ひ式終るや直ちに鐵路赴任の途に就きたり▲貿易 元山港客月中に於ける貿易統計を見るに輸移出十萬二百六十三圓輸移入三十八萬七千四百四十三圓合計四十八萬七千七百六圓にして之れを前年同期に比較すれば輸移出に於て六萬四千九百三十六圓を減じたるも輸移入品中成鏡線用軌條十一萬五千圓餘の輸入ありしを以て結局總計に於て十萬二千三百八十三圓の増加を示し居れり▲防備隊惜別宴 永興灣防備隊は既に廢止となり引揚期の差迫りたるより司令山口中佐は八日午後七時より元山市内官民百餘名を六芳樓に招待し惜別の宴を開催せり▲虎島學校廢止 永興灣虎島公立尋常小學校は今回要港司令部撤廢せられてより内地移住者の激減を來し從つて學校の維持は到底望むべからざる狀態となり組合議員會にて協議の結果廢止するに決し目下之れが許可申請中なりと▲警務部長午餐會 小川警務部長は八日朝第三琴平丸にて來元正午より元山の主なる官民を東洋軒に招待し午餐會を催したり

平壤

▲府協議會員任命 平安南道長官は今般平壤及び鎭南浦の府協議會員を任命したるが平壤府協議會員は宮川五郎三郎、板倉益太郎、大橋恒藏、淺井佐一郎、松井民次郎、朴鳳輔の諸氏にて鎭南浦府協議會員は原田鐵策、富田儀作、馬場嘉藏、西崎鶴太郎、谷川恒次郎、林祐敦、朴孝健の諸氏なり▲名勝保存會評議員 平壤名勝保存會に於ては今般左の諸氏に對し同會の評議員を囑託し同時に實施委員として瀧警務部長及び吉松事務官、藤田警視の三氏を推薦したり
勅使河原法院長、瀧警務部長、藤田警察署長、吉松二部長、中西農銀支配人、鈴江典獄、阿部鮮銀支店長、宮永道事務官、内村慈惠醫院長、藤野驛長、小川稅關出張所長、金夏濬

沙里院

▲既報の如く沙里院衞生組合評議員滿期に付九日同事務所內に於て改選投票を施行せり其結果左記の諸氏當選せり(三十二票)淺田善七(三十票)坂本宮次(三十一票)吉中永福(二十八票)古田寅一、[illegible]、李德基、鄭鳳洙、康昌植、[illegible] 因に重任のものは坂本宮次、[illegible]の二名なり▲九日沙里院公立尋常高等小學校內に於て東拓會社沙里院出張所主催となり第六回新移民を招致して懇篤に農事に關する注意事項を教示せり因に講話者は黃海道廳永島技師及び鳳山郡廳農業技手平野一二の二氏にして參會者は三十餘名なりき▲平安農工銀行沙里院支店現金出納係菅谷氏は平安南道白川支店詰となり其後任として鎭南浦支店詰松本氏來任の筈なり▲黃海道警務部長鹽澤義夫氏は部長會議列席のため四月九日午後二時三十分自動車にて海州より來著直ちに當地三時發急行列車にて京城に向け出發せり

木浦

▲木浦米の聲價 米檢實施の結果阪地に於ける全南米は大に歡迎せられ三月末日に於ける大阪市場標準取引の本道上格米相場は馬山群山の上格に比し一釐四十錢の上位を占むるに至れり是れ乾燥檢査充分の結果なるべし而して今後梅雨期を經過する米穀は阪神商人に於て一層乾燥に注意するを以て當業者は益々此點に注意し本道米の名聲を發揚せん事を期し居れり▲三月中貿易 當稅關支署に就き當港貿易額を聞くに輸移出三十一萬七千三百七十四圓輸移入十萬二百四十四圓にして客年の同月に比すれば輸移出五萬七千六百十八圓輸移入三萬二百六十二圓の各増加なりと▲三月輸出米 當港より輸移出したる本道米は合計七千七百八十石にして前年同月に比し四千百四十石の激増なりと▲三月檢米數 木浦米檢所に於ける三月檢米數は合計一萬二千九百二十八俵にして前月の八千九百二十一俵に比し約四千餘俵の増加なりと因に輸移出先は重に阪神なり▲府協議會員任命 當府協議會員は六日任期滿了せるより七日附道長官より左の如く選任されたるが朝鮮人中黃瓚周氏退職し金永鶴氏新たに選任されたる外全部重任せり
高根信禮、關田有造、木村健夫、山野瀧三、藤森利兵衞、金商燮、金永觀、秦學允

忠州の本町より 日新生

▲今朝は雨催ひの空風強く舷の子には殊に厭な天氣に御座候、午前中官衙を驅け廻つて午後本町に松木彬氏を訪ね申候、▲同氏は忠州の鹽田、芙江の富田兩氏と共に忠北の三人物と稱へられ、道長官開催の懇話會にも三氏打ち揃うて招待されし事あり各自の事業に依りて其方面こそ異へ地方の開發に貢獻せる處尠からざる由に候▲鹽田氏は謹嚴實直にして寧ろ沈默家に候へど松木氏は質性磊落にして能く食ひ能く語り申候▲談農業に及べる際、氏は淸州邑内に在る共同便所の糞便は從來總て入札に附し來りたるが兩三年前までは殆んど無價値なりしに近來は三十圓以上の價格を認められ而かも其落札者は朝鮮人なる旨を話され候▲總督政治の批判者中には産業拓殖に就きても往々、統計が粗漏だとか報告が誇張に過ぎるとか申し居るものなきに非らざる樣なれど、此の些々たる一事に徵するも僅々數年間に於て鮮人の農業的思想が如何に進歩し各般の産業が如何に發達せるかの全班を窺ふ可く候▲地方に參れば斯樣な事實談は到る處に溢れ居り候、歸途は豫定を變更して芙江に立ち寄る可く御承被下度候

大邱

▲慶北地稅狀況 三月末日現在慶北地稅徵收狀况を見るに調定總額百二十六萬五千五十八圓中既收百二十三萬八千九百五圓にて九割七分九厘の成績市街地稅調定總額二萬四百八十八圓中既收一萬九千六百四十九圓にて九割五分九厘の成績なり

▲慶北米穀檢查成績 慶北 三月二十一日より同卅一日に至る米穀檢查成績を見るに金泉の二千九百五十八叺を最とし各所共に多少の出穀ありたれど週米豫期の如く多からず今各別に示せば左の如し

	總數	優等	上	下	再調
金泉	二、五九九	〇	二、〇三四	三二四	[illegible]
倭館	二、三二五	〇	一、九〇四	三〇一	[illegible]
大邱	三三五	〇	二四三	七九	[illegible]
慶山	二、六〇三	五六	一、八〇四	八〇三	[illegible]
淸道	二、六六六	〇	二、三五六	三二〇	[illegible]
浦項	四三九	八四	三〇一	四四	[illegible]
開寧	一、〇〇四	〇	六四二	三〇二	[illegible]
計	三、三九九	六八〇	九、五三三	二、〇六六	[illegible]

而して大豆出廻總數は金泉一、四一四、倭館二、一〇五、大邱九二、慶山九九四、淸道四一、浦項一、三六四、開寧一六、合計六、〇二六叺也

▲尙武會武術大會 大邱尙武會にては九日正午より大邱公立尋常高等小學に於て勁年部武術大會を開催す

▲茂興學校組合豫算 慶北茂興學校組合五年度豫算は歲入出共六百九十四圓にして戶別割總額百二十五圓一戶平均十四錢二厘にて前年度に比し總計四十圓の増加なり

釜山

▲高女校增築案 釜山公立高等女學校にては入學志願者年々增加の爲め比較的餘裕ある教室其他の設備有るにも拘らず其裁縫室の狹隘なる爲め入學を許可するを得ず故に其增築の經費五千三十四圓を既に計上の議あれども右財源其他に關しては教育調査會にて調査討究の上不日學校組合會議に附議すべしと

人事消息

▲本田幸介氏(農學博士) 十日朝入京巴城館へ
▲高久學氏(日本天然瓦斯會社取締役) 九日午後釜山上陸北行
▲坂岡錚三氏(東洋擴殖理事) 九日夜南大門驛發汽車にて歸任
▲岡手副氏([illegible]) 稅關長會議に列席の爲め不日東京に出張の筈
▲稻城勇雄氏(步兵第四十旅團副官大尉) 九日午後一時大邱より入京巴城館へ
▲古城管堂氏([illegible]) 九日夜歸京
▲中川湊氏([illegible]) 同上
▲アンダーウッド博士 十日朝南大門發內地へ
▲加藤定吉氏(代議士) 九日夜南大門發同上
▲山口第十四旅團長 同上
▲稻垣甚兵氏(鐵道局工務課長) 京釜線[illegible]
▲岡本十九師團參謀長 第十九師團參謀長は七日より新築の參謀長宿舍に引移れり
▲江藤治郎氏(實業家) 十日朝入京朝鮮ホテルへ
▲テーバー氏(會社員) 同上
▲ルタクスデルゲ(米國實業家) 同上

□雨煙る日曜日に

連日春雨蕭々として都門寂寞たり、折角の日曜日も外出に難く詩情鬱々自ら悶き者あり山縣素空道人野田大塊翁に二佛句を寄す翁亦た即吟之に答ふ、即ち左の如し

春雨に座禪和尙の欠伸して 素空
春雨に諸川漲る高麗の國
春雨に閑や茂り且つ伸びつ 大塊
春雨秋は實のらん今はるゝ

無佛仁兄贈余病牀以杜律二卷賦之言謝 成田碧石

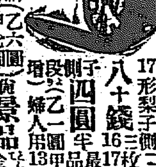
困臥春寒料峭時。牀塵三尺蠹蟲嗤。
忽傳喜語篷頭謝。娴嚼惠風龍底髓。
手澤香存眚數卷。心知賜勝藥千匙。
吟來頓覺病魔散。句句驚人老杜詩。

●大募集 官衙の證明援助ある五割金の事業を縣郡に特約し自轉車を給す直に申込あれ 東京市銀座南紺屋町 習字獎勵會

製材機械原動機 其他一切付丸鋸共 賃貸又は割安賣却 鑛山機械專門製作 南大門通五丁目 電話一〇四番 中根商會

男女募集 官廳銀行會社商店員は骨を折らずに收入多しあるに今や實地にたけれる人物なきに困じ居れり之れを得んには東京芝區榮町大日本通信學院發行和文速記講習録に就て三ケ月卒業早速就職す現に卒業生は官廳銀行會社商店等に奉職し多額の俸給を受け優待せられつゝあり希望者規則進呈

胃腸最新藥 日本米歐十三ケ國專賣特許
常用すれば血液を増し身力を盛んにす

●説明書進呈 東京本町 合資會社 圓城商會
金張男女用指環代價無進呈 金側代用時計特價販賣
本品は時計製造の本場たる瑞西國製新輸入の完全なる金側代用品にして側は新の化學を應用なし合製金に數十圓の金側と同樣の形容を有す尙機械は總て要所々々に寶石を鏤めたる故堅牢無比廿ケ年の保險を附す今回現品賣弘の爲め左の特價を以て安價販賣す

十七形硝子十五側十六形梨子十六十七形三枚蓋十五形 八十錢 二圓 子側 四圓 半品最優等 側段(乙一圓甲二圓) 婦人用十三十四形 最右値斜
式五圓半最新時計(乙六圓甲七圓) 無代進呈 景品同質の地金にて 男女用指環鎖皮の五ルタ メ及環鎖を景品に 大景品
要錢の御注文は次第引替小包にて送り一圓均一に販賣す ●要す郵券代用一割増 ●前金送料不要 ●不向の節は他品交換又は返金す
大阪 日野時計店

開靜にして避暑避寒に宜し

温陽温泉

(行南) (行北) (行南) [illegible]

●今秋の立太子式

全國小學校生徒の旗行列

立太子式は愈々今秋十月三十一日を以て御擧行相成る事に御内定あり。趣は既報の如くなるが今回は明治四十二年立儲令の公布以來最初の儀式なるを以て之が施行の細目は既に宮内省に於て審議中なるが同式は御即位禮に次ぐべき國家の大典なれば確が上にも御鄭重を旨とする必要あり來月上旬には準備委員の任命を愼重審議の筈なりと聞く當日は東京府始め全國各府縣にても盛なる奉祝の計畫あり既に東京市の如きは奉祝方法に就て研究中なり殊に府市の教育者間に小學生徒を中心として奉祝をなしたき希望を有する者多きを以て或は奉祝會とも云ふべきものを設け當日全國各府縣の小學生徒は擧つて旗行列をなさしむるに至るべし(東京)

●御土産の明石鯛

母君陛下に御對顏あらせらる

須磨離宮に御駐泊中なりし京宮殿下には御母君陛下に御對顏の爲め七日午前八時五分供奉の諸員を從へさせられ離宮御出門、御俥にて須磨驛に御著、官民の奉送を受けさせ給ひつゝ京都に向つて御進發あり十時四十分京都嵯峨驛御著車あるや、古川驛長の御先導にて御出迎申上げたる大森京都、大久保大阪兩府知事、櫻井郡長其他に御會釋を賜ひつゝ入江侍從長以下の供奉員を隨へさせられ直ちに御料の腕車に召され御道筋に堵列せる村民の奉迎を受けましつゝ嵐房莠母君陛下に御對面あり殿下には御土産として明石鯛の活燒三尾を差上げ給ひしに陛下には殊の外御滿足に思召され野菜一籠、筍、獨活、胡瓜を賜はり四方山の御物語あらせられたる後二時半御暇乞を申上げられ御退下、母君陛下には二階御便殿に立たせられ畏くもお見送りあり、同四十分嵯峨驛發列車にて御機嫌麗しく須磨驛御著、衆庶の奉迎を受けさせられつゝ御俥にて離宮に還啓あらせ給へり(京都)

●スミス氏の曲乘飛行

青山練兵場觀覧者で埋る

八日午後二時よりバードマン、スミス氏其妙技を演ずべく青山練兵場にては午前九時より青山陸軍大學前福田原、濃信町千駄ヶ谷聯隊の各入口より一般觀覧者の入場を許したれば折柄の花日和なると土曜日のこととて觀覧者の集まるもの踵を接したるが練兵場には日米國旗を交叉し場の西南部には七千人を入るる貴賓席特別席を設け中央には周圍半哩幅員四十二呎の自動車競技場あり一般觀覧席は四萬人を收容すべく設けらる飛行開始前早くも黒山の如き光景を呈せり飛行は午後三時半二十米突を滑走して離陸七百米突の高度にて場内を三周し千百米突にて横轉一回續いて宙返り五回更に横轉二回再び宙返り一回急旋回を爲し更に五百米突より大傾斜にて宙返り二回横轉一回、それより三百米突の空中より異迹標に降下して著陸したり此日兩皇子殿下及び山階宮伏見宮兩殿下の臺覽ありたり(東京)

曲乘飛行家スミス氏と尾崎行輝氏の握手

●日本人は勤勉なる國民よと

勞頭第一に感服

ボーイに金五十圓の祝儀

來朝せる印度の大富豪タ、氏

印度の大富豪として紡績製鐵等各種の事業家として有名なるタ、家の令弟ラタン、タ、氏夫妻は日本觀光の爲に白人の下女一名印度人の從僕一名及び英人の音樂家ノエルクナー氏を隨へ八日入港の

=比阿汽船ナゴヤ=

にて孟買より神戸到著オリエンタルホテルに投宿したり氏は印度上流階級なるパーシー族にして其容貌は一見歐洲人に類し髯形にて顔の一半に蓬々たる胡髯鬚を蓄へ年齡は五十前後に見受たり其の資產五億圓の大分限者と注せられ居るも服裝は存外質素にして藍縞中古背廣を無造作に著做し記者に對する態度も極て鄭重に見受られたり而して氏夫妻は著神早々直に歌木通譯を雇て元町の骨董商播新に赴き古器物を猟りしが氏の

=美術上の眼識に=

富みたるには通譯も舌を捲きたる由にて數ある骨董品中より堆朱物のみを選出するなどナカ〳〵詳く殊に破笠の陳作が四時目に留りたるなど日本の玄人筋も及ばざる鑑識眼あり斯くて同店に於て堆朱の古器物蒔繪の手提食籠搭ては駱牛の巨大なる唐銅物など約一萬餘圓の蛮骨品を選出して歸館せしが多分全部購入するならん尚氏夫妻が昨朝乘船ナゴヤを去る時部屋ボーイ及びデッキボーイ其の他に與へたる祝儀は頗る豪勢なもので銀貨は所持し居らずと見えてポケットより英國

=紙幣を攫み出し=

て無言にて分ち與へしが其紙幣は英蘭銀行發行の手の切れるが如き五磅(五十圓)紙幣なりしにはボーイ等も喫と叫びてサンキウの百萬遍を繰返したる由ホテルの休憩室に於て氏は記者に語りて曰く自分はタ、家の舍弟なるが父は兩三度貴國に遊びし事あるも自分は今回が初參とて殊の外感興を催し居れり先門司にて石炭積入作業の整々として一絲亂れず時計仕掛の如くに行はれ中に

=婦人小兒も交り=

て孜々として稼ぎ居る姿は最も珍らしく實に日本人は勤勉なる國民よと勞頭第一に感服したり日本の風景は繪畫其の儘にて雲の配置から空の晴具合も印度とは類を異にし如何にも晴々と氣持好く感じたり但し此の寒さには少々閉口し居れるも滯在は三箇月の豫定ゆゑ暖りて咲き季節に入ると信ず。タ、家は製鐵所紡績工場發電所及びホテル事業等に

=數萬の内外人を=

使役し殊に過般來英國行の軍需品製造にて頗る多忙なるが孟買の諸工場に供給するタ、家の發電所は孟買を距る五六十哩のウエスターンゴフに在り印度は河流に乏しきを以て雨水を標高千五百呎の山上に貯へ更に此水を幾個の堰堤内に引き五萬キロワツトの電力を發せしめ居れり製鐵所は孟加良に在り所有の鑛山の鑛石は五十八パーセントの鐵を含み

=世界隨一と稱へ=

らる右は最初タ、家雇米國技師の發見に係り又從來印度にては鋼を製造し得ざりしも米國技師の手にて製鋼を始め今は英國は勿論日米諸國に輸出し居れり此のタ、製鐵所の附近には炭山多きは實に天幸なり紡績工場とホテルは孟買に在り我タ、家は曾て英國帝室より授勳の沙汰ありしも父は之を辭し却つ日本の勳章を所持せり是は往年比阿汽船が孟買棉花の

=運輸を獨占して=

商賃を貪り荷主を苦しめた際父は佛國ユムユム汽船をして競爭せしめんと試みたるも思はしからざるに因り自ら日本に出馬して日本政府に交渉し郵船會社と特約を結び來りたる功績に依れり云々尚豫定なるが氏は大形の翡翠を手に入れんとて神戸の其所此處を尋ねしも見當らざりしより京都にて購入する筈大形の翡翠は容易に獲がたき珍石にして京都にも僅に一二個あるに過ぎず然も其價格は一萬圓以上との事なれば時ならぬ福の神の來訪を同地骨董商は手具脛引いて待受け居るならん(大阪)

●蔚山沖汽船航路にて二個の暗礁發見

昨年十一月八日朝郵成鏡丸船長外園末吉氏が同船に乘組み慶南府山沖を通過中沈沒軍艦らしきものに坐礁せりとの元山通信數日前の本紙に現はれしが右に付伊藤遞信局海事課長は曰く當局にては當時朝郵より京日記載の記事と略同樣の報告を受けたるより

▲海底精査の必要 を感じ本年一月釜山出張所長塚越技師に出張調査を命じ塚越氏は潛水夫其他必要人員を隨へ現場に出張約十日間に渉り海底探査を遂げしに右は沈沒軍艦に非ず二個の暗礁の連續せるものなるを發見したり右暗礁は蔚山花石湫岬沖約六百間東經百廿九度廿五分北緯三十五度廿八分九秒にして

▲水深低潮十三呎 の位置にあり而して該暗礁は北西より南東に蜿延し長さ約九十呎幅約三十呎に及び其の周圍の水深七尋乃至十尋岩礁の底質は素砂及び硬岩より成立したり右の位置は蔚山より元山に至る航路なるに何故今日迄發見せられざりしやと云ふに前述の如く暗礁の水深は最低潮時十三呎なるも滿潮時は十八乃至二十呎に達し成鏡丸の如き七百噸級の船は最低潮時に非ざる限り何等の故障なく經過し得べく偶々十一月八日の干潮時に同船が該暗礁の上を通り坐礁せしものなるべしと

●五月場所大相撲と新番附

鳳大錦の渡臺

五月場所大相撲は來る十一日御免競を擧行五月十二日番附同十八日初日と決定して其れ〳〵各組合へ通牒を發した處各組合とも十日番附發表を望んで來たので協會は是れを十日に繰上げ近く根岸理事が番附に著手する筈

▲巡業の各組 第一組の太刀山西の海朝潮一行は七日伊豫八幡ヶ濱を打揚げ次ぎに宇和島松山吳岡山他一二箇所を打つて餘日あらば京都に一ト興行して五月七日までに歸京の豫定第二組の鳳大錦一行は六日神戸を出帆して臺灣に乘込み臺中外四五箇所を打つて五月一日基隆を出發して歸京の筈

▲合併興行説 大阪方は東京の五月場所打揚げ後國技館に於て再度の合併相撲を望んで居る東京方は目下の處其諾否を表面に現はさぬが豫て六月に延期するであらうと取沙汰のあつた大場所を昨今切りに急いで居るのは或は打揚げ後に五日位合併興行を催す下心ではあるまいかと云ふ説がある

▲引退と追善 玉椿は愈よ引退するに就いて五月場所打揚げ後國技館に於て引退披露相撲を催す計畫で目下著々運動中であるが學生團其他の應援で切符の賣行きは頗る良好である又朝潮は五月場所打揚げ後初代高砂十七回忌の追善大相撲を催すので關係者は運動に著手した

●並木を盜伐す

京城黄金町七丁目大工職李速甲(二一)は本年一月十一日光熙門外官有地の一端に植えある京城府衛生賃行部の管理に屬する並木ポプラ立樹二本を竊伐し各一本宛自家の燃料に供したること發覺し本町署に檢擧さる

●大國民記者引致さる

東京衆議院内に本部を有せる時事通信社及び東京にて發行する雜誌大國民の特派記者と稱する山川某外數名は此程何れも京城本町署に引致せられ目下取調べ中なるが京城市内居住の實業家商等官等にして同人等の訪問を受けたる向少なからずと

●盜金で仕入れ

京城和泉町煙草小賣商柳弘錫(二〇)は本年四月三日午後四時頃南大門通五丁目雜貨商成日燦方家人不在中に乘じ手提金庫より金十六圓を竊取して煙草を仕入れたること發覺し本町署に檢擧さる

●埋もれた間島の富

豊穰なる農產物 銀と銅の無盡藏

私共の居る間島の龍井村では京城の新聞が早く來て一週間以上かゝるそれも京元線鐵道が出來てからの事であるが元山から清津

◇清津から會寧 を經て更に圖們江を越えて十三里程の道中であるから隨分不便といへば不便であるそれに頭日はまだ雪があるが昨年なども氷點以下三十五六度の嚴寒を見た事もあるので寒い事も一通りでは無い、間島の面積はわが四國の一倍半、土地は圖們江を隔てゝ沃野千里に連り毎年

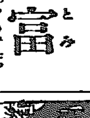
◇豊かに穀物が 實る、間島の富は實に此の無限の大豆粟などの穀物にある、今に清津會寧間を繼ぐ清會線鐵道が出來あがつたならば奥地の產物がドシ〳〵運び出される事と思ふが愈よ本當に間島の富源を開發するには更に進んで會寧吉林をつなぐ吉會線の竣工に俟たねばならぬ吉會線は獨り間島のみならず

◇北滿洲一帶の 物資を輸び出すにも極めて大切な譯で是非共一日も早く著手したいものである、假に長春大連間の鐵道と長春清會間の軌道とを比較して見ても後者の方が約六十哩も近距離となる而已ならず清會から日本海を横斷して裏日本の海港と連絡するにも最捷徑路であるわれ〳〵は一日も早く

◇吉會線の建設 を望みたい是非共早く著手したいものである、それに龍井村附近の天寳山銀鑛も過般來いよ〳〵事業に著手したので昨今間島の人氣は頓に引立つて來た、鑛山に用ゐる蒸汽機罐の運搬も圖們江の結氷中を急いで山に運むだので約三千貫以上の釜が首尾よく江を渡り作業場に取寄せられたのである

◇由來天寳山は 色々の問題を惹起したので寧ろ賃價より以上に噂されて居るが併し二三十年掘つても充分掘り盡くされし鑛山ではない鑛石は銀と銅とで將來有望な事業であらう、また間島に於ける日支警察官の衝突は從來屢々起つたことで實に困りものであるけれどもこれは前の間島協商と昨年の滿蒙條約との解釋により双方ともに

◇司法權の爭ひ が起るので將來支那の職亂が戢まれば何とか片付く事だらうと思ふ、併し間島は始めに日本の領土だといつて遂に支那に讓歩したけれ共實際は住民の八九割方は鮮人なので今でもむかしから朝鮮の領土のやうなものであつた(間島總領事代理鈴木要太郎氏談)



朝鮮ホテルの理髪場は京城唯一の理想的のものだ相な▲お客は主にホテルの泊り客であるがまた宇佐美長官、木村鮮銀理事など街から來る人々も尠くない▲此處の誇りは一切の道具が完備して居る事と萬事が清潔で專ら衛生に注意してある事とである待合室を區別した點なども大に氣持がよい▲理髪用の椅子はまた米國製の便利な者で左右上下廻轉自由自在だが他に電氣で濡れ髪を乾かす器械や電氣マッサージ電氣美顔術の機械もある▲床屋さんは各國領事館に出入する八野君といふのが主任であるが外人は毛が柔かな爲めにタウエルなどで毛をこするを嫌ふのだ相な▲それで婦人方なども洗髪さる時は此處に來て電氣を用ゐられたら好からうとの話なし▲其の他爪の掃除器械から香水クリーム等の化粧品まで實に豊富な設備が整うて居るが外國人は理髮する間にも椅子に凭つて讀書する者が多いから白いヘアクロースも袖著きとなつて居る

●小作人の模範

全北天□郡瑞穂面川崎農場主川崎藤太郎氏は目下…

…表旌したるが同人は極貧の中に病夫を看護し勤儉力行して常に小作人の…

…り雁人二名及び來客一名に重傷を負せ金錢を強奪せんと企てたるも家人が戸外に出で賊よ火事よと叫びたるにいつれにか逃走せり目下所轄憲兵分遣所にては極力犯人搜索中なるも未だ捕に就かず

…横領費消したる外同里李利濟の印章を偽造し之を行使して群山全州通り一百圓を又た同…

(一等九名)…(二等六名)…

●一部落全燒す

五日午後十…

天氣 …

演藝案內

大正館 電話八七三 …

壽座 本町 電話五七八 …

大正館 連夜滿員『うき世』劇 御禮申上候

黃金館 黃金町四丁目 電話二六三七 …

壽館 電話一〇五〇 …

活動寫眞 京城壽座前 電話二七一二 …

京城 春川 間自働車運轉 京城南大門通一丁目二十二番地 廣橋京春自働車組 電話三一九番

クスリはホシ 眼藥

ダリヤ 京城西大門外竹添町二丁目 東京千草園分園

月經 流經新藥レスノリン 常盤藥院

山岸祐太郎長男祐吉儀昨九日死去仕候間生前辱知諸賢に謹告仕候追而葬儀は明後十二日午後一時途中行列を廢し南山本願寺に於て執行可致候尚供花放鳥は堅く御辭退申上候 大正五年四月十日 弟 山岸爲次郎 親戚總代 中島省三

正二品李公鳳來氏以宿患本月九日午前十時三十分卒逝茲以訃告 出棺四月十七日午前七時 葬式場同日午前九時 西大門外獨立門前 場所同日午後二時 下棺同日午後一時 返虞所同日午上七時 男 李…容… 姪 …代表 子爵宋秉畯 子爵趙民熙 子爵李根澤 白完爀 小宮三保松 國分象太郎 渡邊鷹次郎 遠山熙

●三機春風に遡って函嶺を越ゆ

陸軍航空隊將校卒業大飛行

八日所澤飛行場にては朝來快晴にして微風だになき絶好の飛行日和なるより航空隊に於ては第四期練習將校卒業野外大飛行を決行すべく早朝より各關係將校等出場して諸般の準備に着手したるが午前六時となるや箱根方面より『快晴飛行に適す』との電報來りたるを以て有川隊長は當日の勇將長尾、曾根、小澤の三將校に對し飛行上に關する一場の訓話を與へ三將校はモ式第十六（長尾）第十九（小澤）第二十四（曾根）の三機を引出し綿密なる機體の點檢を行ひたる後有川隊長より出發命令降れば曾根中尉はモ式第二十四號機を操縱して午前六時四十七分離陸し次いで小澤中尉は同十九號を操縱して六時五十分離陸し次いで長尾中尉は同十六號を操縱して六時五十八分離陸したり斯くて午前七時曾根中尉の操縱する二十四號を先頭として三機は何れも靜岡練兵場に着陸するや長尾中尉の十六號機小澤中尉の十九號機も續いて同九時二十分相前後して無事練兵場に着陸したり（靜岡）

●二十餘名の馬賊團

農家を襲ひ小兒を人質に取る

去る七日午後第四警察署管内なる河洛溝の西北五淸里なる農村の豪家にて李某と呼ぶ宅へ突如二十餘名より成る馬賊の一隊襲撃し來たり家人には目も呉れず散々亂暴したる果本年四才になる同家の小兒を人質に取り何處ともなく逃走したり此報に接したる支那官憲は直ちに嚴重の搜査に著手したり（安東電報）

●讓渡三艦の授受式

萬歲聲裡に壯嚴なる擧式 伊吹艦上のアットホーム

今回我國より露國に讓渡せる軍艦宗谷、相模、丹後の三隻は特務艦隊に護衛せられつゝ去る三十日吳軍港を出發し三日午前十時特務艦隊旗艦伊吹を先頭に舳艫相啣んで威風堂々浦鹽に着せしが當日露國側よりは海軍大尉リツスメル氏接伴員として

□碎氷船に搭乘し ブブリ(?)ブレフト沖迄出迎へ直に旗艦伊吹に乘艦し港内の狀況を巨細に說明しつゝ徐々入港し始めたり斯くて軍艦伊吹よりはカルトピン附近に於て露國々旗に對する禮砲廿一發を發射したるが之れに對しプレストボブロン砲臺より答砲あり次で同砲臺より山中司令官の將旗に對して禮砲發射あり之れに對する山中司令官の禮砲は露國西伯利亞艦隊

□司令官に敬意を表する意味にて發射せられ尚ほ日本領事代理の祝砲等あり砲聲殷々たる裡に各艦は港内に繫留せり軈て山中司令長官は露國西伯利亞艦隊司令長官及び來浦中の沿海州總督ゴンダッチ、軍司令官ミシチエンコフ大將、要塞司令官、軍務知事、軍港司令官、浦鹽市長、日本領事代理等に謝辭を述べ當日午後はピリッツ中將官舍に於て晩餐會の催しあり山中司令官以下幕僚及び三艦の艦長上長官等十八名臨席せり次で翌四日は正午より愈々三艦

□海軍禮式に依り退艦式を擧行することとなれるが先づ君が代の奏樂裡に日本軍艦旗を撤去し代ふるに露國々旗は揭揚せられ露國乘組員一同乘艦したるが我乘組員は去るに及び流石に名殘の惜まるゝにや一同顧眄すること少時轉た感慨に堪へざるものゝ如し斯くて彼我萬歲聲裡に壯嚴なる式は全く終了を告げ一同は日本總領事代理及び日本人會主催の午餐會に出席したるが五日は浦鹽市長ペレッション氏其他を

□伊吹艦上に招きアットホームを催し午後二時半終了し次で同六時特務艦隊は茲に重大なる責務を果して同港を出發することゝなり八日午前五時無事當港に歸還せしが濃霧深き爲め入港するを得ず同九時に至り港內第一區浮標に繫留せられたるが讓渡三艦乘組員は軍艦周防に移乘せしめ十六日夫々各所屬艦隊に送還せしむる筈なり（舞鶴）

●松村權大教正豫審決定

文書僞造行使と詐欺罪

嚢に奈良地方裁判所に拘引され此程保釋となりたる大和丹波市天理教本部員權大教正松村吉太郎の豫審は

▲此程終結愈々 來る二十四日午前九時より奈良地方裁判所に公判開廷さることゝなりたるが豫審決定書は頗る秘密に附せられ居るも探聞する所に依れば同決定書の概要は本件檢擧の火元たる小川作次郎が豫て天理教本部に於て故福原神宮々司西内成郎氏等の手によりて獨立運動をなし居るを聞きたるより松村吉太郎に說き入り法學博士にて警保局長たりし古賀廉造氏を通じ時の政府に向つて獨立運動をなし

▲成功せし曉は 古賀に二萬圓他に二萬圓小川に一萬圓計五萬圓を受くべく要求し其契約をなしたるにも拘はらず其後小川が恐喝事件にて奈良地方裁判所に拘引されたる際松村は證人として喚問されしが其の時松村は僞證をなしたり其後小川は出獄して松村を訪ひ報酬の請求をなしたるに松村は小川の運動が効を奏せざりしとて應せず小川の無氣なるに乘じ結局百圓を與へて天理中學生果をして四百圓の受取を認めしめ今後一切

▲天理教に對して 要求がましき事をなさずとの趣旨の書面に小川の捺印をなさしめ斯くて小川が右の契約金請求を奈良市の辯護士故森脇駒次郎に依賴して松村に請求したる際松村は件の僞造證書を示してかゝる證書まであり請求に應ずべき義務なしとて跳付けたりと云ふにあり（大阪）

●朝煙景品抽籤

先般來景品附大賣出中なりし朝煙の抽籤は四月七日忠州に於て官憲及び各新聞記者立會の上公平に執行したるが豫想以上の大盛況を呈せり當籤番號は廣告欄所載の如し

●猩紅熱

京城太平通二丁目渡邊巧（三）は七日發病八日診斷の結果猩紅熱と判明順化院へ入院加療中

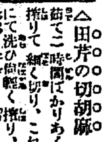
演藝

▲黃金館 十一日より全部新寫眞と差替へたりその主なるものは左の如し
▲實況 英國艦隊の演習 ▲實寫 ……全二卷 ▲新派 弘前愛國心 全二卷 ▲泰西活劇 海底鐵道 全八卷 ▲澤村源之丞 …… ▲千本櫻 御殿の場 義太夫講經
▲實錄 振袖火事 全四卷

▲大正館 今回京都より同館專屬として招聘せる筑前琵琶村上桂林の演奏が同好者の人氣を惹きたると うき世□山彥九郎の二大寫眞にて連夜大入りの盛況を呈しつゝあり

▲壽館 落語三遊亭一圓遊一行

▲浪花館 本多燕左衛門一行の浪花節九日にて打揚げ目下休館中



△田芹の切胡麻 田芹を茹でゝ二時間ばかりあくを出し擰りて細く切り、これを醬油にて洗ひ輕く擰り、これに醬油さ煮出汁した割しものをかけ別に黑胡麻を煎り乾きし爼板の上にてこまかに切り、之を前の田芹さまぜて器へもり上より芥子の晒し物をかけて勸めます

商況

東京株式特電

銘柄	前場寄付	大引
日本郵船	一九一、二〇	一九一、〇〇
[illegible]	……	……
[illegible]	一五九、三〇	一五九、一〇
[illegible]	一二九、七〇	一二九、七〇
[illegible]	……	……
東株	二四二、二〇	二四二、二〇
東株新	二三八、一〇	二三八、四〇
東新第一	二一二、〇〇	二一二、九〇
東新第二	二〇九、九〇	二一〇、一〇

債券現物特電（前日との比較）

七日川米國債	……
[illegible]	一三八、一〇

公債直取引特電（前日との比較）

八日現在	……
[illegible]	九五、〇〇

深川在米特電

八日現在	……
[illegible]	一七、五〇
[illegible]	一七、三〇
[illegible]	一六、九〇

東京期米特電

	前場	後場
八日 當限	二〇、〇〇	二〇、一〇
中限	二〇、〇〇	二〇、一〇
先限	二〇、八四	二〇、九七

大阪期米特電

	前場	後場
當限	一四、二〇	一四、二〇
中限	一四、〇〇	一四、〇六
先限	一四、一八	一四、二〇

下關期米特電

十日前場（正米乳色思ひに賣るも當限買に足踏まる大持合）

	寄付	引
當限	一三、七三	……
中限	一四、〇四	……
先限	一四、〇九	……

大阪株式特電

銘柄	前場	後場
[illegible]	五〇〇	……
[illegible]	五〇〇	……
[illegible]	五〇〇	……
[illegible]	五〇〇	……

大阪三品特電

十日前場

限月	寄付	大引
三月限	……	……
四月限	……	……
五月限	……	……
六月限	……	……
七月限	……	……
八月限	……	……

朝鮮物産特電

品名	相場	品名	相場
馬山玄米	三、〇〇	釜山大豆	……
[illegible]玄米	……	慶山大豆	……
[illegible]玄米	三、一〇	[illegible]	……
木浦玄米	三、〇〇	元山[illegible]	……
同 [illegible]	二、九〇	城津大豆	……
群山特玄	二、八〇	龍山大豆	……
同	二、八〇	長湍大豆	……
仁川玄米	二、七〇	寧城大豆	……
南浦玄米	二、六〇	仁川小豆	……
釜山上白	……	宜川大豆	……
釜山中白	……	平壤大豆	……
釜山[illegible]	……	群山大豆	……
仁川上白	……	木浦大豆	……
仁川中白	……		

雜報

●正米買附難

地方共に漸次出廻り稀薄の傾向なりし正米はさらでだにヂリヂリ歩調なりしに偶々頃日の期米暴騰ありし折も此際に油を注ぎたるが如く此際賣人の意氣愈々熾んにして此機愈々相場の立直りを期待すると共に出廻りも又一層減退を告げつゝあり相場は約五十錢の過半となりたり

●浦鹽餅續々輸入

浦鹽餅は近頃又々輸入を見るに至り今後何は續いて入荷あるべき模樣なり大阪は四十四五圓位なりしものゝ入品は從來の如く頗る見込み多かるが昨今の入品は從來の如く品質良好なる丈に人氣も又多し

●日増に頑强の傾

明太魚は日増に頑强の傾向を示しつゝあり

●明太魚産地强硬

明太魚は此處上物二十圓乃至二十九圓四五十錢迄の取引あるのみにて人氣は依り良好と云ふを得ざるも産地の態度硬化の爲め仲買方は……

●洋釘眼先安乎

洋釘は本月二十日前後より來月に亘り積込みの輸入品の外に期待すべき今後に於て嵩む形勢なるが産地は大體に於て時期

●輸入續々

……

●蒟蒻粉は振はず

其後需要者筋は一般に手持品を透し今後一押あらば再び買物を注ぐべき形勢なるが産地は大體に於て時期

●相場の低落

……

●精米更に値上げ

精白は近來移出口の杜絶によりて常に供給過剩の氣味ありしが頃日來各自地場取引に對し自然朝安の倚たるとせられつゝありしが頃日正米は安値より約五十錢方の昂騰となり搗米も原料の實物相場に照り前に精白値段二十錢方を引上げしも精米所の手元にては平素の利定實と原料高とにより却つて不引合ひの度を高むる事となりし結果九日同業組合に於ては更に二十錢の値上げを斷行し

値上げ 標準値十三圓二十錢

下關相場

▲朝鮮白米は小强し 内地期正米の引續き彩聲を……

▲大豆は例然平穩とし……

京城雜穀

九日分 小井里玄米 一八九叺 水原玄米 五五叺
…… 五五叺 平澤白米 三三叺
…… 二六叺 瓮津白米 ……
平澤玄米 二〇三叺 成歡白米 三五叺
……

南大門の廻穀

九日分 小井里玄米 一八九叺 …… ……
鎭南浦 …… 四六叺 …… ……
島致院 …… 一二四叺 …… ……

京城正米

迅速 確實

仁川海岸町 取引所仲買人 萬善正太郎 電話一六三番

●頗る强硬

各種正米は……

仁川現物市場

▲輸入米……

釜山穀物市場

▲正米（保合）……

▲大豆 相も變らず品溥にて……

仁川期米

▲十日前場 …… 一錢高の入電にて……

●依然保合

……

一意專心 實際の現物 取引所仲買人 田中金兵衞 電話 一六二八番

市場零聞

▲前場動かず 大阪の……

▲押し目は又買狙ひ……

▲依然保合ふ ……

▲人氣は比材 ……

▲中限依然たり ……

▲氣候は不順 ……

▲强氣側の觀測 ……

仁川米豆取引所

十日の六月限

	寄付		
前場	……		

賣買取組高

	賣買取組高	前日と比較
四月限	三百石	二
五月限	三千三百五十石	……
六月限	二萬二千三百石	……

北濱だより

●寶田石油株

……

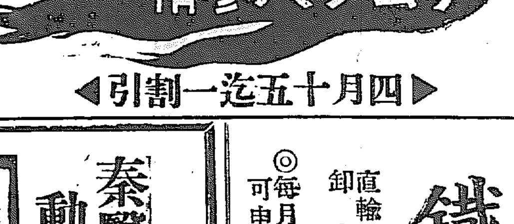
●製布株突飛高

……

胃病新藥 マーゲン
特約店 京城南大門通二 新井藥房
大阪本町五丁目上 田畑保榮藥房

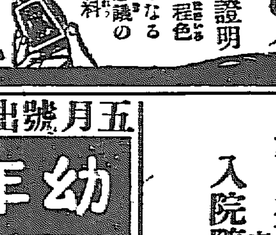
特效 老衰、神經衰弱、神經痛、腦病、痔疾、胃腸病、營養不給、病後ノ衰弱、其他總テノ强壯劑
元祖 ツムラ人蔘部 京城本町一丁目（明治町角） 電話一八七〇番
定價 八拾五錢 十八入 一圓五十錢 四十五入 二圓五十錢

朝鮮みやげ類



◀四月十五日迄一割引▶

移轉披露

宮内省御買上◎各宮家御用
二條公 土方伯 大原伯 御卷授 小久保 醫學博士證明
ミルド 化粧液


東京 ミルド商會

謹告
先般來研學の爲め東上中の處今回歸院仕り專ら患者の診療に應じ可申候
京城明治町一丁目（電話二〇四四番）
入院隨意 江頭眼科醫院 江頭富雄

五月號出來
幼年エバナシ
繪畫美麗噺面白く教育的價の安き子供雜誌中第一
東京 …… 出版社 ……

●辻比良廢止廣告●
從來寫眞取替へ毎に市中へ配布致居候辻比良廣告今般兩館協議の結果特別寫眞以外には配布せざる事に取極め申候間此後寫眞差換へは京城日報並に朝鮮新聞演藝案内に依り御承知被下度此段謹告仕候也
天然色活動寫眞株式會社滿鮮代理店 黃金館
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 大正館

鐵と浪平板
直輸入卸商 京城府南大門通り三丁目 福田又京城支店 電話一三二番 振替京城二九三番
◎毎月商報發行致居り候條御一報次第御郵送可申上候

秦醫學博士の嚴密なる動物試驗を經て販賣する
アルサミノール Arsaminol
六〇六號（ネオアルサミノールも今回發賣せり）
帝大教授鈴木博士指導の下に當社が製造に着手したるアルサミノールは蝟集滯積せる注文に追はれ、供給の數量之に伴はざりしも今回製造規模を擴大し今や漸く大方醫家の需要を充たし得るに至れり。
本品はエールリヒ博士と共に六〇六發見の名譽を擔はれたる秦博士に依りて一々嚴密なる動物試驗を行はれ同博士の證印を得たるものに限り發賣に供するが故に使用上絕對に安全なり。
東京室町 三共株式會社

宮本武藏

第四回　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

さて澤田杢左衞門は佐々木劍道齋岸柳と名乘つて小石川富坂に道場を出し、追々道場が盛大になるに隨つて石川巖流先生を塵芥の如く嘲罵る、之が巖流先生の道場へ聞えたに依つて師範代をして居る梅澤源次郎といふ者が姓名を僞はつて岸柳の道場へ來て他流仕合をした所が文平佐吉に勝たけれども岸柳の杢左衞門に負けた、次に小石川水戸中納言の家來辻文次郎、此人は有名の遣手だが此人も出懸けて往つて岸柳の爲に敗を取る、其次に同じく水戸の家來山野邊主税、卜傳流の劍術の大家、此人も岸柳の爲に打込まれた、モウ往く者がない石川巖流先生殘念に思召したが生憎病中、瘧病を病んで居て身體自由ならぬ、名人上手といへども病には勝てぬもの、水戸中納言之を聞いて殘念に思召し『頼む軍刀齋の病氣はまだ全快いたさぬか、如何にも當家に人なき如く岸柳の高言憎みても餘りあり、病氣全快の上一日も早く軍刀齋に申付け、岸柳めを打込ませなければ予の氣が濟まぬ』と仰しやつて毎日の如く御醫者を巖流の許へお遣しになり容體をお問になる石川巖流此所に於て切腹の覺悟を決めた、何故切腹の覺悟をしたかといふと斯迄惡口をされて病氣といつて、引籠つて居れば、熊本の岸柳に勝つ見込がないに依つて虚病を構へて居ると言はれる、然る時は流名の恥辱となる、されば迚て病氣を押して他流仕合に往つた所が、元々病中であつて見れば負けないといふ保證は出來ない、負けた時は流名のみならず水戸中納言頼房公の御恥辱になる、絶體絶命の場合に立至つたに依つて寧ろ身を捨て名を全うするが上策、卑怯未練で死ぬのではない武道の面目を立てんがために一命を失はんと決心した、此に至つて、潔よく覺悟を定め、後々の事を細々認めて息女のお八重、八重の夫小笠原の家來宮本武藏へ宛て、遺書を遺し、門人總代梅澤源次郎及び其他へも書殘して美事に切腹を致して相果ました、併し夜中の事であるから誰一人として知る者はない、此方は宮本武藏先生は舅石川巖流の病氣平癒を祈り、毎夜神田明神へ參詣いたす、夜の更ぬ中に參詣を濟ませ小石川白山御殿下石川軍刀齋の道場へ見舞に來る其を毎日の勸めといたして居ります、其晩も相變らず武藏先生道場へ來て見ると門人の山中平助といふ者が居る、先生はお寢てお在でになるといふ、婿見の中で何の遠慮もないから武藏先生ツヽと寢間へ通り『武藏エ、宮本武藏でございます、お見舞に伺ひました御免下さい〳〵』といへども何の應もない、不思議に思つて襖紙を開いて見ると屏風が立廻して點火の影が暗く屏風を明ければ這は如何に十疊の間の中央に毛氈を敷き前に經机を置いて香を焚捨てにし、時ならぬ紅葉の中に軍刀齋巖流、腹一文字に掻切り、遺す刀に咽喉を貫き前に俯して息絶えたる有樣、吃驚いた武藏立寄つて手を押へて見れば冷切て氷の如く夜前に生害したものと見える、前の經机を見ると二通の遺書があつて一通は自分の名宛一通は息女の八重又一通は門人へ宛てたもの先づ武藏殿へとしてある遺書を開いて見ると薄墨の匂ひも亂れず、斯々の次第にて相果る拙者の志を繼いで岸柳を打込む者は門人多きが中に貴殿一人婿見の情誼を思ひ岸柳の道場へ乘込んで修羅の妄執を晴らして呉れるやうといふ短文ながら心籠めたる遺書熱湯の如き涙をハラ〳〵と落し、屍の手を取つた宮本武藏『エ、先生嘸かし殘念に思召したでございませう、私も疾より先生の名代とし岸柳の道場へ乘込うかとは存じましたが家を思ひ身を思ひ、倘又流名の疵になる事を恐れ躊躇して居りましたのが一生の過ち、悔て返らぬ先生の御最期、併し最期の際までも武藏を人がましく思召され志を繼いで呉れとのお頼み、不肖なれども宮本正名確かに承はりました必らず富坂の道場に乘込んで岸柳を打込み先生の妄執の晴れまするやう致します、どうぞ成佛遊ばすやうに』と疊に落る血の涙

四月十二日九星
舊三月十日己卯
本命一白北閉赤口

▲一白 莫迦〳〵しき事有日諸事見合西の方は吉暗劍北▲二黑 間尺にあはぬ事有日新事手控ゑ賣物は吉買物に用心せらるべし▲三碧 願事の日轉居入學金談名弘旅作求職婚禮取替盟契等吉▲四綠 芽出度日轉居旅行求職名弘會件出資建築水利施用築等萬吉▲五黃 困りのつかぬ事有日新事手控舊事良圓功なし▲六白 選擧日轉居旅行入學求職造都開園婚姻等皆吉物に勝の日▲七赤 悶愁を洗ひ新に福を得るの日萬事進で吉待人好音を傳へ來▲八白 不宜なる相談を受んとす新事手控ゑ事は吉一切のかけ事を禁ず▲九紫 障かし事吉時に新事有日新事手控ゑ事は吉交際に注意せらるべし

汽車

[illegible]

皮黴科　入院隨意（診察夜九時迄）
皮膚病　黴毒病　淋病　膀胱病　生殖器　機能障礙
京城明治町二丁目（元顧問府前）
佐藤醫院（電話一一七三番）
日曜祭日午後二時迄

京城學校組合告示第八號

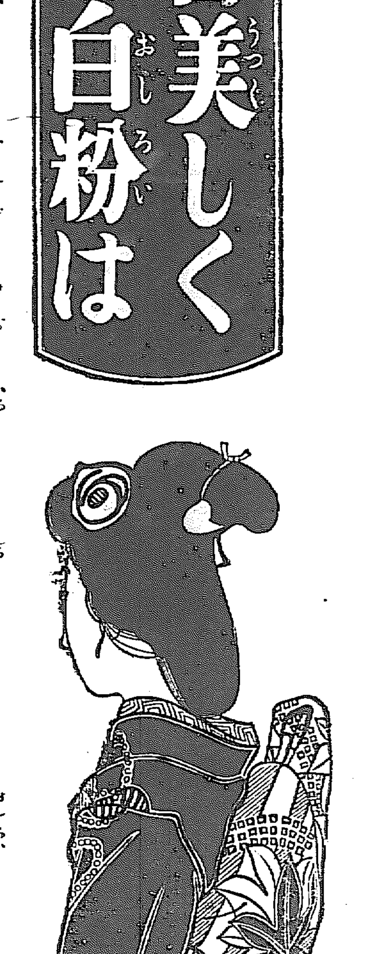
京城學校組合授業料及保育料徴收規程左ノ通リ改正ス

大正四年四月一日　朝鮮總督府府尹　金谷充

第一條ノ別表ヲ左ノ如ク改メ同條第二項中「小學校」ノ下ニ「補習科ヲ除ク」ヲ加フ

種別	一人月額 組合員タル者	一人月額 組合員ニ非サル者
高等女學校 本科	金貳圓五拾錢	金參圓五拾錢
同 補習科	金貳圓五拾錢	金參圓五拾錢
小學校 高等科	金八拾錢	金貳圓
同 尋常科	金四拾錢	金六拾錢
同 補習科 鍾路公立尋常高等小學校	(晝間)金八拾錢	(晝間)金壹圓貳拾錢
南大門公立尋常小學校	(夜間)金貳拾錢	(夜間)金參拾錢
元町公立尋常高等小學校	(晝間)金四拾錢 (夜間)金貳拾錢	(晝間)金六拾錢 (夜間)金參拾錢
女子記念幼稚園	金壹圓	金貳圓
簡易實業(二科目ヲ修ムル者)	金七拾錢	金壹圓
專修學校(一科目ヲ修ムル者)	金五拾錢	金七拾錢

資本金　貳千百五拾萬圓
積立金　九百參拾五萬圓
株式會社第一銀行京城支店
京城本町二丁目（長番號金京城一一番）
頭取　男爵　澁澤榮一
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

數ある品の其の中で
一番美しくつく白粉は
クラブ洗粉本店新發明の……不思議に生地の色までも白くなるクラブ白粉と
クラブ美の素白粉
他の白粉には眞似が出來ぬ
クラブ美の素白粉とクラブ白粉とはクラブ洗粉本店化學研究部で最近發明しました獨特の美身劑が配合してありますから附けて高尚で非常に美しく洗た後の生地の色までも白くなるといふ不思議な作用を有て居ますので此の點は他の白粉に眞似の出來ぬ特長でございます尚他の白粉よりは遙かに分子が細いのでノリもノビも一番良い上に永くお化粧が崩れません


御園クレーム
肌の荒れて白粉の斑になる人、常に皮膚のカサ〳〵して硬ばる人は勿論、何人も是を朝夕用ふれば肌柔やかになり肌理細く、顏色鮮に麗はしくなる美顏料なり。
白粉下としては極少量を指先にて顏に延き其上へ刷毛にて御園粉白粉をはき付くれば洋風の化粧となり、煉白粉を塗れば品よき和風薄化粧となる重寶の品なり。
定價 十錢 二十錢 五十錢
本舖 伊東胡蝶園
發賣元 丸見屋商店
(112)

京城日報
第三版
十一日朝刊（夕刊と合せて八頁）
本紙定價　廣告料
發行兼編輯人　印刷人
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社

大阪三品　大阪株式　四月限　二二九、七〇

大阪期米特電　東京期米

京城日報

帝國軍人後援會

本日は、朝鮮ホテルに於て、帝國軍人後援會朝鮮支會の發會式を擧行せらる。

抑も軍人をして、十二分に其の武勇を發揮せしむるには、後顧の憂なからしむるにあり。日露戰役に於て露軍大敗後、黑鳩將軍が、我戰敗の一半の責は、軍隊に後援を缺かしめし國民にあり、と言ひしが如く、其の軍隊に對して、我軍の如く、國民の後援なかりし爲め、後顧の念禁ずる能はざりしに主因する所尠からず。然るに我國に於ても、戰役當時は、國民の後援極めて旺盛なりしも今日に至つては、其の熱情、漸次冷却の觀あるは、吾人の常に遺憾とする處なりし。殊に軍人遺族及び癈兵中、生活困難なるもの、却々少數ならざるのみならず、近時徵集壯丁の增加と共に、現役兵の家族にして法規上服役を免除せらるゝに至らざるも、相當の救護を要する者、亦尠からずとなす。若し是等に對して、適當の救護と、慰安とを得せしめざるに於ては、將來國民の、獻身的精神を銷磨し、遂に兵役避忌の惡風を誘致し、必任義務兵役の、實を無に至らしむるやも計り難く、思うて茲に至れば、洵に寒心に堪へざる也。されば軍人後援會は單純なる慈善事業に非ずして、實に國防上の、補助機關なりと云ふも、敢て過言にあらざるべきを憶ふと同時に、其の事業は、刻下焦眉の急たるを切に感せずんば非ず。然り而して、今や我軍隊の編制は、在鄕軍人をして、益々其の責任を重大ならしめ、愈々其の精鋭を期待せざるべからざるに至れり、然れば在鄕軍人をして、其の責任と、期待とに背かざらしめんと欲せば、啻に軍事教育の向上のみを以つて足れりとせず、彼等をして、常に後顧の憂なからしむるにあり、後顧の憂なからしめんとせば、一般國民の後援を要するは、之れ亦洵に明かなる次第なりとす。是れを日露戰役に見るも、露軍の大敗は、其原因多々ありとするも、在鄕軍人の大部を以て編制せし、豫備師團の孱弱なりしが其の主因なりと云ふ、其れ大に鑑むべき也。而して後援會が、其の名目に於ては、軍人の後援なるも、實際に於ては國家全體、國民の總てが、相協力して、國防に任ずるの精神に外ならざるは、既に明かなりとす。獨逸が今回の大戰に際し、其の軍隊の勇猛なるは、普佛戰役と共に、設立せられたる維廉帝軍旅救護會の力が、與つて大に奏功せる處にして、各國有識者の確認する處也。

我朝鮮に於ても、今回帝國軍人後援會支會の設立を見るに至りしは、吾人の洵に欣幸とする處にして、上下協同一致、以て同會の隆盛盛大を期せんとするは、何人と雖も爭うて其の援助する處たるべし。否、既に茲に其の設立を見る、吾人は、之れが成長を助けざるべからざる也。

隣邦時局の觀察（十）

布施知足

廣西の獨立以來南軍の景氣は餘程立直つて素人眼にはもう占めたものだと思はれたのにも拘はらず一般に妥協説が盛んで實際の形勢も亦其方面に進んでゐるのでは無いかと思はれる點がある、少くとも妥協運動が奏効する餘地はあの戰爭の仕方をみても充分に認められるのであつて、あの遣方を觀ては我々は所謂革命黨にも絶望せざるを得ない、元來支那では常備軍が役に立たなくて義勇兵が一番間に合ふ、殊に鄕里の守備には其土地の人民を使ふのが一番効能がある、之は昔から左樣であつたが殊にそれが著しうなつて來たのは白蓮教匪の亂からで教匪が湖北の隨州に押寄た時一生懸命に戰て其土地を落されずに守り終せたのは實に土地の義勇兵の力であつた、それから段々義勇兵の効能が朝廷にも認められて公に義勇兵を募ると云ふ事になつたが兎に角其力で白蓮教匪の亂は平らいだので常備兵は一向役に立たなかつたのである、長髮賊の時には常備兵の無能と義勇兵の効能とは愈々明白になつてあの亂を平らげたのは曾國藩の湘勇と云ひ李鴻章の淮勇と云ひ胡林翼の楚勇と云ひ何れも義勇兵で常備軍では無い、例の有名なゴルドン將軍の常勝軍も元來李鴻章部下の淮勇を土臺として作つたもので畢竟義勇兵である、土地の者が集まつて義勇軍を作り自から其土地の防禦に任じて外來の敵に當つてゐる間はそれでよい、困つた事は敵も亦其土地の人民を徵發し之に武器を持たせて先鋒に立たせ土地の人と人とを戰はせて肝心の兵隊其の者は後の方で見物してゐる事である、戰ふ者はひよんな工合で敵味方にはなつてゐるが元々多くは御馴染の間柄で親しみはあるが怨は無い、こんな調子では眞面目な戰爭の出來る理由は無し妥協運動の手が其の間から這入る餘地は充分にあるやうに思はれるが、革命軍の戰爭の仕方は矢張り此の式でやつてゐるらしい疑がある、先達ての瀘州の戰だと記憶するが、南軍其地を陷ると共に地方の人民一萬人を併せ破竹の勢にて前進中なりと云ふ報道があつた、此電報を打た人も讀んだ人も共に之を以て南軍の優勢を證するものと思つてゐるらしいが我々の觀る所では之は優勢を證するものでは無くて寧ろ其缺點を現はすものである、土地の人民を無暗に兵隊に組入れたとてそれに渡す武器があるまい、武器はあるにしても訓練がない節制が無い、精鋭な軍隊で眞面目に戰爭をする上から觀れば此樣なのは寧ろ足手纏ひである、況んや前に謂つた通り敵も同樣に土地の人民を徵發して前方に當らせる、さうすると敵味方は互に御馴染の間柄で相近づく、色々の流言や謀計は其間に細工される、若し革命軍が眞に其革命軍たる所以を發揮して萬事に更新の意氣があり戰爭でも所謂日本仕込の確固した所を觀せてくれる心算ならば、先づ此人民が軍隊に紛入ると云ふ弊風を防ぎ軍隊だけで眞正の戰をして見せてくれなければならないのに、今迄の遣方では依然として舊式の土地の人民を驅つて戰はせると云ふ方式で其間に何の進歩した所も認められない、況んや政治上から觀察しても此遣方更に突込んで言へば政治の局に當る者の此心懸が即ち支那に動亂の絶えない原因であつて此事に就ては長くはなるが聊か觀察を下して見なければならない。

咸北の農業（九）

東拓理事　村田俊彦　(32)

二十萬頭計畫（續き）

肉價は此の如く近來非常に賑く、咸北の或地に於ては百目僅かに十餘錢なるを見たりき。一昨年全北の南原に遊び、白米一升六錢なるを聞きしが、彼と云ひ此と云ひ皆行無相通の亂達なるより來るものにして、斯の如き狀態は一般經濟界の爲め漸次に消滅させたきものなり。曾て咸北に……牧支……備はずとし中止せられたりと聞く。然れども將來此の如き擧をして有利ならしめ、以て喜んで之れが創設を企てしむるの機到來せんことを望む。之より少しく屠牛のことを語らんに、牛を屠殺するに種々の方法あり。其最も進歩せるは、我國にては廣島屠牛場に於て爲さるゝが如く、銃殺するものにして、五十歩百歩の論なりやは知らざれども、牛に苦痛を與ふること少く、比較的見て慘ならず。然れども最も多く行はるゝ方法は、槌を以て其頭を撲ち、又は刀を以て其顏面を刺すにあり。數年前余が米國市俄古に遊び、有名なるストックヤードを訪ひし時は、皆撲殺の方法に依れり。咸北等に於ては、刀を以て刺殺するものなりと聞けども、所に依り血液の流出を充分に爲さしめざる故、肉味を害す。因に云ふ、市俄古のストックヤードとは、屠牛場の畜牛所の謂にして、又通俗直ちに屠牛場を指す。數年前にありても一箇年牛三四百萬頭、豚七八百萬頭餘、羊三四百萬頭餘、馬十萬頭余を屠殺し、其の畜牛所は牛七萬五千頭餘、豚三十萬頭餘、羊五萬頭餘、馬五千頭餘を容るゝ設備を爲せり、屠牛會社の最も大なるものはアーマー會社、スフヒクト會社等にして、各屠夫一萬四五千人を使役す、屠夫は大概猶太人なりと云ふ。牛は前述べたる如く、皆撲殺すれども、豚羊等は綱にて倒に懸けて其の頸部の動脈を切斷せり。屠殺より製造に至る動作の敏速なる驚くべきものあり。極言すれば數分間にして一方より入りたる生牛は他方より鑵詰となりて出るやの戲あり。

□我社主催講演會

講演者＝東京帝國大學教授　法學博士　吉野作造氏
演題＝未定
日時＝四月十二日午後四時卅分
會場＝南山町高等女學校
來聽隨意（三面記事參照）

大阪財界便り

△綿糸界の前途　紡績聯合會の發表したる三月中の綿絲出來高は右十六手左二十手其他を合して十六萬七千二百三十梱に達し前月分に比して千四百八十四梱前年同期に比して二萬九千五百六梱の激增を示して斯界の新記錄を印したるは操業短縮の解除と增錘の結果なるが一方之れに對する輸出狀態を調査するに同月中の總輸出高は二萬四千五百四十六梱にして前月同旬に比すれば六千六百二十三梱前年同期に比して一萬〇九百八十四梱の激增を示し斯くて本年一月以降累計は實に六萬一千二百六十一梱に達し空前の輸出額を見たり而して向ほ益々增加するの傾向あるは支那經濟界が比較的平穩なると上海及び漢口綿系の在荷漸次減少し居る關係もあり又銀塊の連日暴騰を報じ爲替關係の益々支那に有利なりしに基きしものなるべしと此趨勢は果して今後とも持續すべきか頗る疑問とせざるべからず而かも茲に注目すべきは各紡績の紬糸の激增し太糸の減少せることにして這は主として南洋印度地方の戰亂に因る自國製產の減少又は他國品の輸入稀薄に連れ本邦品を歡迎するに至れるものなるが戰後に於て變調を來たすべき虞れなきや考慮すべきことなり

△生糸輸出高增加　七月より三月まで九箇月間に於ける橫濱港より歐米諸國への生絲輸出高は歐洲向二萬一千四百二十五俵米國向四十三萬三千五百八十一俵合計十五萬五千六俵にして之を前年同期に比すれば歐洲向四十七俵米國向三萬四千俵の何れも增加なり又同屑物の輸出高は歐洲向二萬三千三百七十七俵米國向五千二十三俵內ベニ一二千五十四俵紡績絹絲二百四十三俵にして前年同期に比すれば歐洲向一萬八千九百三十三俵米國三千四百五十三俵の是亦何れも增加なりと

△無税燐寸割當　露國に於て本邦より輸入する黃燐燐寸の中五萬箱は無税にて輸入せんとの意嚮ありて此旨露に同政府より我政府に對し通告ありしやにて其筋より阪神の當業者に就て其輸出高に應じて按分比例を以て割當つる準備なりと解せらるゝが大阪市內に於ては殆んどこれなく大部分は神戶にありとのことなり

△セメント輸出　一時セメントの南洋方面への輸出激增を示し居りたるは獨墺品の代用として需要を促したる結果なりしが嚴寒の季候に入りて需要減退し打續く戰亂のため船腹の不足を生じ來りしとに由り運賃の騰貴をなしたる等にて自然輸出の不足を呈し居りしが追て春暖に向ひ今や工事季に入れるを以て弗々新規註文も入込みつゝあれば漸く輸出の增加を見るに至るべきが本年一月以降の輸出高は二十五萬樽に過ぎずと

△英國關稅改正　英國砂糖輸入稅一封度に付二分の一片增加せりとの事なるが糖度九十八封度以上の輸入稅は一ハンドレッドウェーに付十四志に相當すと

△朝鮮煙草總會　朝鮮煙草會社にては本年三月以來東京の本社を大阪に移轉せしが二十四日大阪商業會議所に於て定時總會を開き本期決算報告をなすべしと（大阪支局）

△後場不勢

△正米續て好況

△現物界

回春園雨の俳座句集

四月九日雨頻りに降る崖城博士飛錫して北日園回春園に俳座を開く集る者十名兮春雨囀り二句吐即吟句左の如し

春雨

鵜飛んで鵜の如し春の雨　魚骨
春雨や樹下に地藏の涙顏　大塊
木の葉打たる草青々と春の雨　崖城
小延の目二つ春雨の胡坂下る　黃丘
春雨や古葉の中の草の色　虎耳
遲々として街行く傘や春の雨　袋人
木の間暗く降る春雨天狗集ふ　大痴
雨蕭な柳緣を吐く一分　同
春雨や解語の花に戀の唄　靜軒
溫突の煙低ふ春の雨の小路　鳥兎
春雨靜に都咫尺の裡　大痴
春雨や禁苑に踏む散り松葉　靜軒
春雨や丹碧に御柳斜なる　袋人
春雨や古都の大守の濕れ來し　苦露
雨暗き林の家の遲日哉　鳥兎
巨木に春る回春園の春の雨　虎耳
軒端滴々豊穰の香春の雨　大塊
皮反る松春雨の庭の天を摩す　黃丘
魚躍る大江の霽春の雨　魚骨
山は烟霞のうちに春雨の面白し　崖城

囀り

小禽囀る曉頃の寢醒哉　大痴
もの賣の背戶から來たり囀る　靜軒
飛び移る前を頻りに囀りぬ　魚骨
庭表の碑に彳めば囀りす　袋人
踏み逸れし外園の小徑囀れる　苦露
隣亭の十二支瓦囀れる　虎耳
園夕へ雅會の亭を囀れり　靜軒

題大痴居士

合作の俳句成る時囀す　鳥兎
春の雨亭後を栗鼠の煙り見る　苦露
雲不動人は語らず囀りぬ　崖城
廢園の何處か雨に囀りす　苦露
柿の木の囀り肥桶馬を曳き行く　黃丘
病院のうしろの森や囀す　鳥兎
山高く家小にしてまづ囀りぬ　崖城
椎の下わりごひらきぬ囀りれ　魚骨
蕾想耽る窓山霧れを囀れり　黃丘
囀るや小窓は閨き私語の聲　袋人
囀るや上の園生も憚らず　大塊
囀るや樹下に美人の笑ひ見つ　大塊
退院に旭映ゆ補囀れり　虎耳

朝鮮總督府
一、府紙壹ケ年度新約壹萬五千貫及石拂下ク詳細ハ四月十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府
一、印刷用紙高砂印外八種
一、舶來クロース（全部ヲ通シ入札スルコトヲ得）
右購買ス詳細ハ四月十日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
購買入札
第一號　玄米二百石外八點
第二號　大豆八百十石外一點
右各別ニ購買ス詳細ハ大正五年四月十一日以後ノ總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

新刊書御案內
カイゼルの裏面
女探訪
和歌の作りやう
畫家の
百鬼閣の
金與のうろこ
安易生活と食物の
女學校出の花嫁さん
女は魔性である
伊太利から英國へ
玉抄
勞働運動の哲學
哲學と文藝
農村生活三十年
李少南書帖
京城本町　大阪屋號書店

松材販賣廣告
一、李王職花山森林拂下松材
土工橋梁建築用丸太及挽材各種
今般左記出張所相設安價販賣可致候多少に不拘御用命仰付被下度願上候
京城岡崎町（電話二八〇番）
丸三幸洋行
餅店出張所　主任　松井吉太郎
特約販賣店　龍山漢江通（電話二一〇番）那須材木店
松生丸太（末口三寸以上）杭木用材
安平驛澤驛多數出材仕候間不相變御用命仰付被下度願上候
餅店驛前　松井吉太郎

文章世界
春季特別號　本號に限り定價五十錢　郵稅三錢
東京本町　博文館
創作
第三の母……上司小劍
せむし……ゴーリキー
年增盛り……尾島菊子
尼寺（戲曲）……吉井勇
病友……塚越亭春
息子への手紙……田山花袋
現代文士美術家錄
▲沙翁祭を機として……坪內士行
▲ショオの皮肉……生方敏郎
▲閑雅府辯……齋藤茂吉
◎御風氏の發心を評す……三井甲之
▲赤ちやんや……鈴木シナ子
▲文豪クープリンの近業……尾瀨敬止
▲貧しき人々……加能作次郎
◎自由思想家とは何ぞや……生田長江
▲紅兒會の頌……今村紫紅
▲西班牙とゴヤの藝術……森田恒友
▲公園のベンチ……西村諸山

鑛山用測量器諸器械
京城本町　シサキ

新日本　五週年記念號
大戰後の國是
四月一日發行　定價本號に限り四十八錢
支那大觀……永井柳太郎
ヴ要塞の運命……
最新文明……
大戰後の新文明……後藤男爵
帝國外交の根本精神……大隈伯爵
殘された婦人問題（公娼の否）解決
記念文藝附錄（戲曲五篇）
東京神田　冨山房

少女の友　春の増刊
揚雲雀
同情に滿つる七大小說
□淚に滲む筆の跡……今西吉雄
□洞窟から來た兒……江口千代
□捨小舟……星野水裏
□寄宿舍の怪……菅野菊枝
□小さき運命の子……山田邦子
□育てた母の心……宇野浩二
□野の道（美麗なる表紙）……川端龍子
□妹を後に殘して……瀧澤青花
□夜の曲（少女の二色寫眞版）
□日本全國公園調べ（寫眞美麗）
美しい二大口繪
出たり
全國高等女學校三特長（主義と特色）（生徒の服裝）（適當の運動）調べ
定價拾貳錢　郵稅貳錢
少女の友半年分增刊共七冊八十三錢
東京京橋　實業之日本社　振替東京三二六

◎革命歌を高唱して獨立

某所著電に據れば支那南洋艦隊の中堅たる肇和應瑞の兩艦は廣東に於て獨立し滿艦共和旗を以て飾り艦員一同は舷側に整列して革命歌を高唱したり(東京特電)

◎宗社黨首領以下銃殺

遼西宗社黨の首領宗風璉以下徒黨五十餘名逮捕銃殺せられたり彼著名の惡匪那吉布を始め餘類多く右は二十八師團の手にて搜探中なり(奉天特電)

◎ミューズ附近の斷續的戰鬪

巴里來電公報に曰くアルゴンヌに於て地雷戰行はれミユーズ河の西方に於ける獨軍は七日夜ホークール附近に於て攻擊を再開し佛軍を驅逐せんと企てたるも佛軍の猛烈なる砲火の爲多大なる損害を被り其の計畫は失敗に歸せり佛軍はアヴオクール、チヤタンクール街道に於て斬壕接近を繼續しつゝありミユーズ河の東方に於ては斷續的攻擊行はれたり(倫敦電報)

◎佛軍敵の砲臺を破壞す

八日午後發表の佛國公報に曰く佛軍の砲兵はピカーデイに於ける敵の砲臺を破壞せるが其の際敵軍との間に激烈なる砲戰行はれたり(倫敦電報)

◎墺船擊沈

佛國の一潜航艇はアドリアチツク海に於いて墺國の一輸送船を擊沈せり(倫敦電報)

◎文武官叙位

十日文武官に對し叙位及び特旨叙位の御沙汰ありたり主なる者左の如し(東京特電)

叙正四位 陸軍大臣從四位勳一等功三級 大島健一
(各通) 和歌山縣知事從四位勳三等 鹿子木小五郎
九州鐵道管理局長從四位勳三等 長尾半平
叙從二位(特旨) 陸軍中將正三位勳一等功二級男爵 木越安綱
叙正四位(特旨) 從四位勳二等男爵 船越光之丞
叙從三位 會計檢査院第二部長正四位勳二等 中隈敬藏

◎文官任免發表

十日淺野式部官以下に對し左の如く任免發表ありたり(東京特電)

式部官兼主獵官正四位勳五等 淺野長之
陞叙高等官二等賜二級俸依願免本官並兼官
內閣書記官從五位勳四等 牛塚虎太郎
任內閣統計局長(二等)
長崎縣理事官從七位 黑田巖
任內閣書記官(七等)
內閣統計局長法學博士 花房直三郎
依願免本官
朝鮮總督府道慈惠醫院醫官 富樫倉之亟
命平安北道新義州慈惠醫院長事務取扱

◎吉田書記官授章

國際糧食補給委員たる在英國日本大使館附書記官吉田伊三郎氏は此程英國皇帝陛下に拜謁仰付られコンパニヨン、オブ、バス勳章を親授せられたり(倫敦電報)

◎中央試驗所官制

一部改正公布さる

十一日附官報にて朝鮮總督府中央試驗所官制中改正の件公布さる(東京特電)

◎彈藥盒大註文

●朝鮮皮革の下請負●

露國政府と大倉組との間に第二回彈藥盒百五十萬組の註文契約成立せるが右註文の一部を朝鮮皮革會社に下請せしむる事となれり(東京電報)

◎中谷議員失格

大阪府郡部選出代議士中谷德恭氏失格に付之が補缺として田中万逸氏當選確定したる旨十日官報を以て公示されたり(東京特電)

◎軍旗親授式

近く宮中にて行はせらる

新設第十九、第二十師團第三十七第三十九、第四十三旅團に附屬すべき第七十三、第七十四、第七十七、第七十八、第七十九、第八十の六個聯隊に對する聯隊旗は目下師團長會議にて東上中の立花第十九師團長に在京中親授式擧行せらるゝ筈にて師團長會議は來る十四日を以て終了し二十日頃迄には退京の豫定なれば近々親授式擧行せらるべしと

◎總督邸晚餐會

寺內總督は十日午後六時三十分より道長官會議の爲め入京中なる各道長官を官邸に招待晚餐會を開けり山縣政務總監以下總督府內各部長官、局長、所屬官署長官局長等亦陪席したり

◎總督と隊部長

憲兵隊長警務部長會議列席の爲め入京せる各道の隊部長は十日午後八時三十分總督官邸に參集し着京の旨申告をなし總督は一同に對し茶菓の饗應を爲したり

◎隊部長會議

全道憲兵隊長警務部長會議は十一日より十八日迄八日間開催は既報の如くなるが第一日は十一日午前九時より總督府會議室に於て開催諮問事項あり午後一時よりは憲兵隊司令部會議を開催意見質疑希望事項等あり

◎軍人後援會發會式

帝國軍人後援會は伏見宮殿下を總裁に戴き大隈伯を會長となし內地に於ては既に會務の隆盛を擧げつゝあるが時代の要求は朝鮮に支會設置を促がし愈々四月一日を以て帝國軍人後援會朝鮮支會の設立を見たるより十一日午後二時半より朝鮮ホテル後庭に於て發會式を擧ぐる事に決し既に五百餘名に對し其な通牒を發せり而して會の順序は一同午後二時參集同三十分第一爆竹を相圖に開會し支部副總長宇佐美氏開會を宣し、山縣支部總長式辭、東京本會より特派せられたる總裁伏見宮殿下名代小原陸軍少將の令旨傳達、宇佐美副總長の會況報告、會長大隈伯祝詞(代理)寺內總督祝詞等ありたる後宇佐美副總長閉會を宣し之れを以て式を了し同三時食堂開始の豫定なるが抑も本會は伏見宮殿下を總裁とし大隈伯を會長とし今回朝鮮支會を設け山縣政務總監を總長に宇佐美、立花二氏を副總長とし各道長官を部會長に警務部長第一部長を部會副長とし此他多數の役員を設け平時戰時を問はず不斷に軍人後援を爲し其の事業としては生活扶助、小兒保育、慰問保護、授產、軍事思想の奬勵普及等にして軍人をして常に後顧の憂なからしむることを期し會員募集の方法としては之れを五種に分ち名譽會員、有功會員、特別會員、通常會員、贊助會員とし以て一定の會費又は特志家の寄附金等に依りて其の金額十一萬圓に達するときは其の一割即ち一萬一千圓を朝鮮銀行に托し百年間不動貯金させば百年の後には百五十萬圓の巨額に達するを以て之れが利子に依り每歲會員の會費に據らずして優に會務を處理し得ることゝなるのなりと

道長官歷訪

□大分頭を變へねばならぬ

鈴木慶北道長官

▲『御榮轉お目出度う』と祝辭を述べると鈴木新慶尙北道長官は愛嬌ある圓顔に微笑を泛べて『ヤー』と御挨拶、朝鮮高官中の最年長者だけ流石に其の頭髮も髭も八分方は白い ▲巴城舘の奧二階の一室、大きい火鉢を挾んで語る『舊任地の忠北と新任地とは秋風嶺及び鳥嶺の山脈一系で界されてゐるが、氣溫は五六度以上異ふ、忠北で漸く楊柳などの煙り初めた時、既に慶北では靑い新綠の柳と梅の花が開いてゐる ▲此の氣溫の差は勸業上の効果などに大變な差を齎らす樣です、假令ば忠北で五年要る事は慶北では三年間に成功する、と云つた風だから僕等も道政を視る上に大分頭を變へねばならない ▲慶北は一千二百方里百八十萬の人口を包容し面積に於ては內地の四國を凌駕してゐる之を忠北に比ぶれば面積二倍半人口約二倍になる……大邱ですか、私はいつも通過ばかりで未だ同地を知らなかつたが、今回赴任して一日各方面を視察しました ▲聯隊本部の設置並に近く東萊方面への輕鐵敷設著手等の爲め私の大邱に對する第一印象は活氣ある市街だと云ふにある、達城公園も掛け茶屋など設けてあつて一寸京都の圓山公園と似た所がありますよ』

◎工產六百餘萬

京城府の製出額

京城府にて調査したる昨年中の工業製出品產額を聞くに總價額六百二十四萬四千五百二十一圓にして其主なるものは煙草三百九十一萬七千九百十三圓、履物二十六萬五千九百五十七圓、菓子二十四萬一千二百二圓、金屬製品二十萬七千四百七十二圓にして鮮人唯一の家庭的工業品たる編細物の產額は十八萬七百五十六圓に達し居れり之に次ぐは木器の十五萬二千三百六十八圓布綿製品十三萬一千四百九十七圓等にして此外尙十數種の製造工業あり相當の資を其他の要件だに具はらば充分發達の將來を有する工產品尠からずと

◎忠北の植林熱

從來山野所有者は年々道種苗場にて仕立たる苗木約二百萬本の配付を受くると少數の天然稚樹を移植するに止まりて道廳にて斡旋しつゝある共同購入の方法に依り個人にして進んで苗木の購入植付けをなすもの殆んどなかりしが前年來の植樹非常の好成績にて發育しつゝあるを視て最近漸く植林の有益なるを知得したるもの、如く前年(四年度)僅かに數萬本の共同購入をなすに過ぎざりし一般鮮人も本年は進んで申込をなし數量の如きも驚くべき大多數に上りたり忠北十郡の內槐山報恩永同三郡を除きたる各郡の申込數を見るに

苗木種子共同購入額	百九十石餘
同個人購入額	二十三石餘
計	二百十四石餘
苗木共同購入數	百二十五萬本
同個人購入數	七十七萬本
計	二百二萬餘本

の多數に上りたるが此外前記三郡の百萬本を加ふる時は苗木總數約三百萬本以上にして前四年度に比し數十倍の激增なりと(淸州)

◎下旬鮮鐵荷動(上)

三月下旬中に於ける朝鮮鐵道荷動き狀況を見るに發送噸數五萬六千五百九十二噸收入十三萬七千百二圓にして之を前年同期に比較する時は數量に於て一萬五千八百七十五噸(三割九分)收入に於て五千五百十三圓(四分)の增加を見る今其主要出荷品目を擧ぐれば左の如し

石炭	九、四七九	木材	五、九九八
鹽	三、九五四	[illegible]	二、九六〇
大豆	一、四二九	[illegible]	[illegible]
雜穀	一、三五〇	[illegible]	[illegible]
[illegible]	六九八	[illegible]	[illegible]

右は之れを前年同期に比して著しき增減を爲したるものを擧ぐれば左の如し(△印減少)

石炭	[illegible]	木材	[illegible]
米	△[illegible]	[illegible]	[illegible]
鹽	△[illegible]	[illegible]	[illegible]

右表の如く本旬は米、鹽を除き他は概ね增加を示し荷動き好況なり左に主要貨物の出荷狀況を概述せんに

▲石炭● 出荷頗る旺盛にして依然發送貨物中の首位を占め出荷總數九千四百七十九噸中平壤鑛業所炭七千六十九噸(七割九分)安東撫順炭二千三百噸(二割四分)其他百十噸(一分)の割合なり

▲米● 米價は依然軟弱にして出荷頗る閑散を呈し前年同期に比し二千五百七十五噸の減少を示せり

▲鹽● 本品の出荷は前旬來漸次衰退に傾き例年に比し五百七十三噸の減少を示せり然して之が發驛別數量を見るに仁川發の千八百六十噸第一位を占め群山發東原驛の四百九十噸を第二位とし鎭南浦發の四百十六噸第三位にあり釜山發二百五十九噸之に亞ぐ

▲木材● 需要期節に入り出荷頗る活況を呈し前年に比し八百二噸の激增を示せり之れ師團增設の爲め兵營建築材料の輸送盛況なるによるものにして其の主たるものは新義州發營林廠材にして總輸送噸數二千九百六十噸中千四百十噸を占む之が主要著驛は南大門の三百廿六噸、平壤の二百十五噸、龍山の百五十四噸、仁川の九十四噸等なりとす

□平壤入は八年振です

工藤平南道長官

▲浦尾旅舘の綺麗な二階の八疊間に新たに平安南道長官に轉じた工藤英一氏は丹前姿で坐つて居た、脂で艷々した顏、髮は中譯に近い分けてある『之から鮮銀の招待會に行く處で』と云ひ乍ら低い聲で叮嚀に語る ▲『平壤には唯の一日ゐた丈けで無返しに長官會議にやつて來ました、左樣方々視察はしたが、まだ方角も確乎分らぬ、實は大に諸君から新任地の話を聞きたい位ですよ、 ▲私は明治四十二年鑛山局長時代に平壤を知つてゐる、其の翌々年一寸寺洞見物の歸りに泊つたが、ホンの一夜ですぐ歸京して、這般の平壤は足掛八年振りです』 ▲新市街の街衢が驚ろく程整然として道路が存外に良い、大きな內鮮人の家屋が盛に殖えてゐる、內地式の學校が幾つも出來てゐる、これが私の今回平壤を觀た第一の印象でした ▲牡丹臺乙密臺附近の景勝は先年に比すると非常に人工を加へてある併し浿江の水と老松と其雄大な眺望は文祿以來數回經來つた戰跡と相待ち平壤の寶と云つてよからうあの附近の樣々な施設や其紹介は平壤一住人としても微力を盡さねばなりますまい ▲鑛業界も西鮮地方は餘程發展しましたね、何しろ富力の累進は鑛業の盛運に依る所が多い、態々意味に於て久原製煉所の事業などは至極結構と思ひます、まあ今回歸任した上でよく道內の狀況を查察し、詳しい話しは他日致しませう』

◎海底線故障と遲著

近來內鮮間其他一般電報の遲延著しき模樣なるが右は釜山下關間の海底電線不通の爲め自然他の四線の內に電信に輻輳を來す事並に此の數日來鮮內の天候頗る不順に付釜山京城間の如き電線に混線及び地氣を生じ故障少なからざる爲め一般電報の延滯を見たるに因るべく但し關釜間海底線は目下遞信省修理船復舊に從事中なれば近く全通を見るべしと遞信當局者は語れり

◎郵便所新設調查

大正五年度に新設すべき郵便所並に電信電話事務の取扱ひを開始する郵便所は各方面の希望少なからず當局に於ては近く豫定開設所につき各般の關係を調査し其上決定すべく目下其の新設所數等は未定なりと

◎吉野博士入京

滿洲視察の途上に在る東京帝國大學敎授法學博士吉野作造氏は滿洲地方の視察を終へて十日午後七時三十分再び入京し旭町三丁目瀨戶潔氏方に投宿したり博士は十一、二の兩日京城に滯在するも一切外來者の面會を避け各學校其他の視察を爲し十二日午後四時半より吾社主催の講演會に臨み講演を爲したる上直ちに東京に向け出發の豫定なりと

◎關釜聯絡船休航

關釜聯絡船は前日來の暴風のため波浪激しく其れがため十日午後七時五十分南大門發の列車は連絡船に接續せざる由にて同夕釜山著の連絡船は中途より引返へしたなを以て十一日午前內地よりの郵便物は不配達なり

◎湖南日報解停

八日發行停止を命ぜられたる湖南日報は十日解停となりたれば十一日より發行すと

◎定期海員試驗

遞信局にては定期海員試驗を來る五月釜山に八月仁川に十一月釜山に於て執行する由

人事消息

▲小原陸軍少將 十日夜入京朝鮮ホテル
▲江藤市郎氏(辯護士) 同上
▲ホーフル氏(米國商人) 同上
▲デンバー氏(同) 同上
▲ホーズアン氏(同) 同上
▲ブレーマン氏(米國領事館) 同上
▲スチワート氏(米人) 同上

回南言北語回

近時又々汽船の遭難が多い若津丸は悲慘な最後を遂げ井呂丸も沈沒した▲殊に最も惜むべきは地洋丸の遭難である▲此の華美を極めた大汽船の遭難は日本許りではない世界海運界の大損失である▲造船後八箇年を經た今日でも尙ほ同船は七百萬圓の價格がある相な▲何と云つても惜しいものだ▲全國幾百萬の信徒から神樣の樣に思はれて居る天理敎の松村權大敎正は▲今迄確に豫審免訴を豫期して居たのに▲私文書僞造詐欺並に僞證罪として奈良地方裁判所の公判に附せられたる信徒の連中イヤ恐かなの騷かないのってホントに眼玉を引つくり返したらしい▲が、如何な神樣でも犯罪があれば仕方はないサ▲此の間は神樣と佛樣の大喧嘩が始まつて居たが宗敎も斯うなつて來ては爲持ちがならぬ哩▲今日の午後二時半から發會式を擧行せらるゝ軍人後援會朝鮮支會は▲先づ一定の期間に十一萬圓を募集し▲其の十分の一即ち一萬一千圓を基金元金として銀行に預けて重利蓄積し▲百年後に於て元利合計百五十萬圓を得ると云ふのだ▲百年後と云へば長い樣なが獨逸は精銳な軍隊を造るに至つたのは一百年の準備があつた▲更に適切に云へば四十五年間訓練を盡した結果▲フロシヤ王が獨逸聯邦を統一して其の盟主となつた事に其の端を發して居る▲何も其樣に長い事はないお互に其の發達に助力せねばなるまい▲と云へば愛國婦人會などの連中が妙に考へるかも知れないけれど▲其れと之れとは事が異ふからマア安心して居らるゝが可からう

回春園席上賦吟
幽心和雨動吟情。孤坐閑雲眠底橫。無佛先生何所見。老松枝上晚鴉聲 佛無齋

□鑛業出願 記事欄外にあり

鑛業出願(前承)

▼平安北道昌城郡

同 田倉面新坪洞 李弼九 李九用
同 田三坪洞新坪洞 阪田彌三 李九用
同 [illegible] 石原宋太郎
同 田倉面新坪里 李琦鎔 金敎鎔
同 所 深山喜多路 今田俊二
同 [illegible] 河東銓 今田俊二
同 田倉面新坪洞楡田洞 昌州面 大塚信太郎 今田俊二 河東銓
同 所 恩田熊部 北鮮興城 大塚信太郎
同 昌州面拾新洞 靑山面熊田洞 金鎭 金泰時 金洪三
同 靑山面熊田洞臨昌洞 [illegible]

出願月日 所在地 出願人氏名
▲銀鉛鑛 二、〇八三 下初北面仙岩里 中川滋
▲金銀鉛鑛 三、二二 上初北面板幌里 同 [illegible]
▲水鉛タングステン 長楊面九成洞 同 [illegible]

銀行會社 官吏鐵道 員養成 講義錄
卒業者は希望通り東京へ勿論全國へ就職せしむ
速成四ヶ月卒業會費一圓八拾錢 [illegible]

書字速進法
會長 子爵東坊城德長閣下
著者 第一部 高田秩父先生 第二部 政田正先生
惡筆を憂ふるよりは宜しき習字法に就て學べ
學校を出て實業界に身を投じやうとした時其履歷書の文字が下手だつたばかりにハネられて失敗した大學生がある。さうかと思ふと反對に一本の手紙をキレイに調つて書いたばかりで上官に認められ重要な役目に拔擢せられた役人もある。此の二つの例について見れば文字の巧拙が如何に其人の立身出世に影響するかゞ分る。成功の秘訣は能筆にありと云ふも亦故ある哉だ。
惡筆に苦しむ人は直に本會に入會せよ!
今の入會者には種々の特典あり。
東京神田駿河臺 大日本習字速進會 電話本局四八四八番
見本付會則無代進呈(申込次第)

簿記一募集一
私立認可 日本簿記專修學校
通學生 寄宿生 校外生
開校廿五週年記念募集
東京芝櫻川町十一番地

日韓書房
新版報告
樗牛全集 第壹卷 美學及美術史 定價一圓五十錢 送料八錢
同 第貳卷 文藝評論 定價一圓五十錢 送料八錢
同 第參卷 史論及史傳 定價一圓五十錢 送料八錢
同 第四卷 時論及思索 定價一圓五十錢 送料八錢
同 第五卷 想華及小品 定價一圓五十錢 送料八錢
京城本町二丁目 電話 二二七・五二五

移轉廣告
京義線沙里院 廣川新聞舖
大阪每日、大阪朝日、京城日報、萬朝報、其他內地各方新聞各種並に朝鮮彙報大取次所
弊店今般業務擴張の爲め從來の場所にては不便少からず候就ては今回沙里院倶樂部に店舖を移轉し配達の迅速を計り申すべく候間一層御引立の程希上候 匆々敬具

觀賞樹 山林樹苗 果樹苗
本町二丁目に花卉、盆栽、種子の出張賣店あり
吉野櫻、八重櫻、一行院楓、立田楓、ニセアカシヤ、赤、黑松、桑、白柏、檜、各種楓柏、同樅、朝鮮樅、各種、苹果、梨、葡萄、玉伊吹、各種
京城植物園 東大門內 電話一四五
築庭請負、植木職供給、其他園藝一般事業

生存機能に必要缺くべからざる
滋養補血 フェロール
醫家推奬 益々盛なり
美味芳香病者に最も適當
▲大瓶小瓶の二種あり
●賣捌所各藥店に
賣捌なき地方は本舖へ御注文あれ

▲代理店
京城南大門通 新井藥房
釜山辨天町 大黑藥舖
元山港 石田濟生堂
京城太平通 木下藥舖
仁川 [illegible]
安東縣市場 井上藥舖

[illegible] 大分縣北海部郡[illegible]村生れ京城明治町一丁目居古手川金一(二五)の所名は三月十九日午前四時頃[illegible]

連翹 ― 漢陽公園にて ―

一噸の重石に=數十名の買鑛者
粉重石を鐵粉こ取り違へた
タングステン産地の悲劇喜劇

タングステンの産地には何處でも大小無數の買鑛者が或は入り込み或は居住して鑛石の買買に狂奔してゐる其内でも私有地から掘り出される地方や盜鑛の出て來る都邑には

殊に買鑛者が多い

ので産地の人氣も都邑の賑ひも悉く此人達から生れて來るのである、忠清北道の北方は皆に産地が廣汎な許りで無く重石は私有地からも出れば盜掘品も尠く無いため、其集散地たる忠州邊りには外來者と在住者とを問はず多數の買鑛者が陣取つて盛に鑛石の買買に努めてゐる、此邊の買鑛者にも大小色々あるが要するに

何れも仲買業で

土地の人は諸方から小量宛買ひ出して外來者に賣り附け、外來者は之を纏めて注文先きに送り出すのが普通の順序である、從つて買鑛者に渡る鑛石は掘り出されてから數名の手を經た後初めて注文先きに送られるので、一噸の鑛石が荒づたとすれば其れには殆んど數十名の買鑛者が干與してゐるといふ有樣である、是れを見ても此邊りに買鑛者の夥しいことが察せらるゝと共に

土地の人氣立つ

のも無理でないことが判るだらう、處が此買鑛者等は從來多少なりとも鑛山に經驗を有ち若くは重石に就ての智識があるかといふと、其れは殆んど皆無といつてよい、殊に發掘者自身ですら掘り出したものが果して重石であるか否か判らない者が多いといふに至つては滑稽の極で到る處に珍談奇聞が湧き、隨所に悲劇喜劇が演せらるゝは全く之れが爲めである、昨今では斯んな

莫迦らしい話し

は大分少くなつたさうだが、一時は粉重石と鐵粉とを取り違へたり、泡石が灰重石に誤まられた事があつて、慾の深い連中には一度で身代を棒に振つたものもあれば、高利に責められて夜逃の止むなきに至つたものもある、元來重石には一見類似の鑛石も少くないが含量の多い點では之に及ぶものが無いのみならず削つて見ると鐵錆の如き粉末が取れるのだから少し注意をすれば直ぐ

眞僞の鑑別は

つく筈だけれども慾に目の眩むだ時は却々左樣な譯には行かぬものと見え、現に此程も比較的重量の多い重晶石と灰重石と見誤つて數百圓を失つた者と、滿俺重石と雲母鐵とを買ひ進へて店を畳むだ者とがあつた、其れでも今日は百兩せしめたとか昨日は三百兩のコンミッションに有り付いたとか此界隈の風評は明けても暮れても買鑛で以て持ち切られ人氣は一に之れに集注されてゐる

又も砂が降る
京城を襲うた珍らしい烈風

黄砂來る!!黄砂來る!!十日の空が雨さへ無きに薄ぐんよりと曇つたのは揚子江の北部浙江省から吹き飛ばされた黄砂の爲であるこんな事は從來でも全く珍らしい現象であつた、十日の午後京城測候所で硝子板に試驗したところによると京城の空には非常な砂が吹き飛んで居た、しかも京城には珍らしい烈風が一秒時間十一米突乃至十二米突の風速で吹き荒れて居つたから

▼一時は太陽の光りが蒼白く見えた、これが今少し烈しくなると銅赤色に見え出すといふ事である、此の日長崎では颶風が吹いた、木浦でも酷い烈風が吹きすさび低壓風は鳥渡珍らしいまでゝある、原因は八日來の大低氣壓が朝鮮の春としては全く稀有な

▼大雨量を齎らし過ぎ去つたあとに南支那揚子江地方にあたつて七百六十二粍の大高氣壓が起つた爲めであつた、併し風は十一日朝になればやむであらう、猶ほ氣壓配置は全く春の時候に定まつたからこれからは三寒四溫は先づなからうと思はれる(京城測候所員談)

御料林の大火
鎭火の見込無し

須磨御料林より去る九日午後二時頃出火したるが枯葉堆積し熊笹繁茂せるを以て四方に延燒し消防困難にして鎭火の見込立たず(東京電報)

南に行く露國人
戰亂以來著しく殖えた

歐洲戰爭開始以來朝鮮鐵道に依り南行する露西亞人が頗る增加した事は既報の通りだが三月中に於ても依然其數を減じない三月中に於て朝鮮鐵道に乘つた外人は總數百六十五名ある其内百十五名迄は南行の露西亞人で其内婦人が十四名あるが他の殆んど總ては哈爾賓、長春又は安東縣より横濱、大阪、神戸等に行く農、商、工の勞働に從事する壯年者だと云ふ其他は南行で米人十二名(内婦人四名)英人二名位、北行に至つては其數著しく減じ露人十七名(内婦人二名)英人七名(内婦人三名)米人十二名(内婦人四名)に過ぎぬ

吉野博士講演會

過般來滿鮮觀察中なりし東京帝國大學教授法學博士吉野作造氏は觀察を終て歸京の途次京城に立寄る事となりたるを以て我社は此好機會を利用し別項社告の如く十二日午後四時より南山町高等女學校に於て博士の講演會を開催せんとす。博士は特に政治史に造詣深く又最近に於いて各國殖民地制度に關する研究調査に從事しつゝありと聞く且つ透徹せる文章と明快なる辯舌とは世既に定評の存する處博士の講演は必ずや來聽者各位の滿足を博するに足るものあるべきを信ず但だ本紙締切時間迄は博士著京せず演題未定なるは甚だ遺憾とする所なれども入京を待つて確定し十一日夕刊を以て報道すべし

春の座敷
何うして裝飾するか

春の座敷飾りのお話しをいたしませう。春は先づお床は諸床が一等です諸床とは掛物を置く時を云ふので

◇飾るお花 は滿開、中咲、蕾と云ふ樣に枝振りをよく吟味して、ほんの少しばかり生けると誠に上品なもので殊に小ぢんまりしたお座敷では一層ひつ立ちます

◇大體生花 は掛物の邪魔にならぬ樣、掛物の軸心の端を中心にして置くとよいとしてあります。また花は餘り季節外れの物は珍らしくても味がなく、家外が

◇花盛の時 にも拘らず室内へも滿開の花を置くのはつり合が惡いし致し升から、之れには極く淡泊したものか草物―先づ白椿貝母抔が

◇至極結構 です。掛物は心もち水に縁あるものが宜しい。此頃書院やお床へもかまはず種々な物を處狹きまでに置く方がありますが、あれは甚だ惡い事です

◇書院なら ば珍しい置物、香爐位が宜しい、まだ庭に打水を忘れてはいけません。お菓子はお好みによるとしても、矢張餡物と干菓子の二色は欲しいものです。よく

◇瀬戸物に 平菓子を入れる方もありますが、之は必ず塗物の器物に限るもので、餡物には箸をつける事干菓子には其必要はありません

◇菓子器は 直ぐ置く方がきたならしく思ふ方もありますが、實は宜しいのです、薄茶や煎茶もよろしいが、香煎(祇園香煎)などは時節柄

◇好適の物 です。額は掛ずに凡て掛物として眺めた方が樂みが多いものです。若しお夕食でも召上るやうですと、早わらび、若鮎、ところじろ、たいらげ、鯛抔を御手際に調理遊せば一段と興深う御座い升

四名の馬賊を逮捕す

去る八日午前十時頃風體良しからざる四名の支那人が安東縣前街派出所管内の豆腐商離玉岡方へ入り來たり休憩したるを巡回の警官が發見し擧動不審者として引致の上取調べると此者等は全箇附きの馬賊にて首領を何永盛と云ひ他の者は其部下なる事判明し目下取調べ中(安東縣)

一丈餘の增水
鮮人一名溺死

九日の豪雨は今春以來初めてのことにて各地に被害ありたるが京畿道楊州郡南大川にては約七尺の增水ありて同川を隔て一時交通杜絶したり又黄海道谷山郡仙岩憲兵分遣所管内にては鮮人一名溺死したり尚江原道春川地方より京城に通ずる一帶の地殊に漢江の上流にても約一丈の增水ありて一時渡船の杜絶を見たり

當世慄へ泥棒
青く爲つて逃げ出す

京畿道抱川郡永平面梁文里生れ崔萬鎭(二)及び同郡永中面萬橋里趙奎成(吉)の兩名の臆病者は外一名と共謀し本年舊一月十七日夜抱川郡一東面吉明里呂書釗方に至り銀釵を盜まんと木太刀及び棍棒等を携へ慄へながら脅迫せんとせしに家人が騒めきつゝ堅く扉を閉ざしたる爲め目的を遂げず青くなつて逃走し遂に檢擧せられ京城地方法院にて各懲役五年の處分となりたり

花柳病が尠い
●釜山の徵兵適齡檢査

去る五日より執行中なりし釜山及び釜山附近の徵兵適齡者身體檢査は愈々八日を以て終了せるが今之れが檢查成績を聞くに詳細に亘りては未だ統計未了なれば知る能はざるも大體に於ては身體は内地の其れに比し餘り優良とは云ひ得ざるも内地各地に於て見受けるが如き尤も忌むべき花柳病者少なく壯丁は受檢の結果合格なしたる場合は嬉々として去るも不合格の場合は何れも失望の色を浮べて立ち去る傾向ありて國家の爲尤も喜ばしき現象なりと係官は語る(釜山)

踏切りで脅迫

京畿道龍仁郡慕賢面葛潭里鄭麟鉉(二十)は本年二月十九日午前十時頃江原道金化郡京元線洗浦驛某鮮人方にて庖丁一挺を窃取し之を携へ同月二十九日午後五時頃京畿道漣川郡々内面玄加里東南元山線踏切りにて通行人なる江原道鐵原郡新西面嶺炭里申泰元方同居人朴德先を引つ捕へ庖丁を示して脅迫し所持金二圓を强奪したる爲め京城地方法院にて懲役十年の處分となりたり

詐欺は無罪

東京市淺草區山谷町當時京城長谷川町居石工吉井久吉(四〇)は詐欺及び窃盜の前科二犯を有する男なるが昨年十一月十一日午前十一時頃同町菓子小賣商市總方に至り代金は同夜支拂ふに依り朝日煙草及び菓子二十五錢合計五十錢を貸し吳れよと持ち去りながら同夜其代金を支拂はず更に菓子十錢を同樣手段にて持ち去り依然代金を仕拂はざりし爲め詐欺取財として檢擧せられ京城地方法院にて懲役十箇月の處分となりたるを不服とし京城覆審法院に控訴したる處此程無罪の判決となりたり

入院隨意　京城南大門通三丁目(西本商店横入る)　胃腸病院　電話一六五九番　院主 佐々木杏造

李鳳來氏葬儀

豫て病褥にありし正二品李鳳來氏は藥石効無く九日午前十時終に逝去せり因に葬儀は來る十七日午前七時出棺獨立門前に於て執行の由

●山岸祐吉氏葬儀 山岸祐吉氏は豫て病褥中の處九日終に死去せり葬儀は十二日午後一時出棺並中行列を廢し南山本願寺に於て執行の筈なるが放鳥生花等は一切之を謝絶する由

三日前のこと南山々麓のある谷間で一人の男が頻に氷を採つて居た▲するとも一人の男が茶目が惡戲半分にあのタングステンを採り出したさうだといつた▲そこで近所の人はまた近頃の金儲け談しかと言ひながら一人集り二人寄つてお終ひには黑山のやうな人集りとなつた▲すると群集中から一人の男が飛び出して『オイ〳〵そのタングステンは夙くの昔し俺れが出願したものだ人の所有物を横奪りすると承知しねへぞと恐ろしい權幕に吃驚したのは相手の男で『私は女房の病氣に氷を採つた許り決してお前さんのタングステンとやらを盜むだ覺えは無いといつたとは曾我家式の御愛嬌ばなし▲大漢門わきから以前のソンタクホテルに通ずる貞洞通りにいつも往來の人の憐みを乞ふ躄の乞食、あれで五圓の貯金を有つた金もちだ相な

朝鮮煙草會社と大景品當籤番號

先般來景品付大賣出擧行致候處愛煙家各位の深厚なる御同情に依り豫期以上の効果を收め四月七日官憲及京城、每申、朝鮮、各新聞記者並に特約店主各位御立會の下に忠州錦町に於て公平なる抽籤の結果當籤番號左の通り表示候也

△一等 壹貳五五七九　五參七四

△二等 八四參參　四七八九　參壹六八六

△三等 參九〇壹　四貳四貳　貳貳五四　六七參九　七五貳〇

△四等 壹壹〇〇壹　六貳〇五　八壹貳七　壹〇五參九　五四〇七　壹壹五壹五　九八壹四　貳七八五　九〇七四　八八八五

△五等
壹　一　壹　　　　　　　一　　　　　　一
貳　壹三貳一六四七五二三〇七七四一九〇　六九八五八
四六六六八參參二〇七參一六參九八一三五九〇〇一九五
五八貳三五七三九四四七二壹一五九九三〇二六五〇八三
五〇三四五八五三七四二七九〇五三四二七二〇六〇三六

一　一　壹　一　　一一一　　一一　一
四六五一壹五九〇　二五〇壹九七二二二　三　二〇六〇
四〇一六五六九八　八〇二七九八六二三一〇八八〇五八
四四參二五〇五六三七六七〇七四八六六〇三四八九一八
八九貳〇七七三一七八五九參六四四七六四五一七〇六一

一一　　　　　　　　一　　一
六壹〇三五八九六壹　壹貳五九　三一八六七八一一三四
六四七六一七五一二六三一六九五五三五一〇一三九九八
一〇九七六四八四九七貳六九二一五四一三〇四四四七七
八〇九四一七七五八四〇五八八七〇七三一一二五二五八

一　　　　　　　　壹
貳四四七八六六六　七參三九二一三三九八三四　九五九
五貳六四〇〇九貳　九八五〇六二六七九八二六一二〇七
九八〇貳三六九壹六參四參八九〇七二四二四一九一六五
五〇九九〇六四參貳四四參七七八五九六九六九一五四五

五等以下の當籤番號は各地特約店に就き御照會相成度候也

引換期間四月三十日限り

大正五年四月七日

引換所 元賣捌 忠北忠州錦町 井上肇商店

子宮病血の道と神[illegible]湯 ヒステリー、惱む人は

彼是と迷ふ事無く最も能く効く良藥神[illegible]湯を試みよ現に百方手を盡しも効なき難症の血の道や、●ヒステリーや、●多年不治の●難治の子宮病の方々お神[illegible]湯の御愛用で漸次快癒し嬉しさの餘り感謝の書状(現に保存す)を一般の閲覽に供す

本劑は 子宮 血の道 ヒステリー リウマチス 神經痛 せんき

●こんな徴候 胸、腹、腰、手、足、肩等の…

病に惱む人あらば即ち難症の論なく此神[illegible]湯は家方の良藥にして、今や全國各藥店にあり

本舗 名古屋市東區…町二丁目 荒川長太郎

▲金銀及ビ水鉛鑛 長湍面温井里九十七番地 中川
▲タングステン

●新聞紙二十貫 慶尚南道…生れ當時京城明治町一丁目加賀…(懲役四月)を窃取したる爲め京城地方法院にて各懲役一箇月の處分となりたり

千生瓢 (179)

須藤南翠作　筒井年峰畫

犬山城（六）

平左衛門尉正継は、謹んで両使を迎へ、禮儀正しく應待して、御預りの弓鐵砲番具足の類に至るまで、員數を揃へて、恭しく返上に及んだ。両使は逐一之を帳簿に照して受領したが、弓は何れも新に弦をかけ、鐵砲は滿く研いて、一挺たりとも錆の上つた者はなく、箭の如きも羽を案さす、鏃も悉く磨き澄して、手入れの懇切たること、己の武器とても及ばぬ程である。殊に彈藥の如きは、御帳面より其數多く、番具足の如きは、緘の綵を新に絡つた箇所さへ少からず、平左衛門尉が平生の心懸けは、闔らずこゝに顯れたのであつた。両使は殆ど感じ入つて、「天晴なる御心懸、憚りながら我等只感じ申す。此よし具に御披露申し上ぐるに於ては、殿も必ず思召し返へさせ給ふでおざらう。就ては我等も侍士の分として、心得置きたう存ずる程に、何卒御物語り下されたい。貴殿御知行は五百貫、五百貫と申せば一貫金にて十五枚內外、米にて大凡五百廿五石、即ち四斗俵にて千三百餘俵おざるが、之れを如何に割宛て、箇樣に御武具のお手入を致されたか、憚りながら御教授が願ひたい」と、辭を卑して問ふのであつた。平左衛門は笑つて應へなかつたが、再三再四尋ねられて、卑下しながら口を開いた。「我等が分にて、鐵砲足輕御預け下さる事、誠に厚き君恩と存じ、只顧保忠の事なきやう、盡忠心を碎いておざる。之に依つて下し從かるゝ五百貫の藏入の內、百貫を以て組足輕の手宛と仕り、病人ある者、身貧の者、又は家內夥しく、御切米を以て生計立ち難き者共を扶助し遣はし、又武藝拔群の者に賞賜するなど、皆此內より支拂うておざる。また百貫を以て武具の修理に宛て、鐵砲、胴籃、火繩、彈藥を修覆もし、詰替も仕つり、猶二百貫を以て家來共の手宛と仕つり、殘り百貫を以て、我等が饑渴を凌ぐ料と致いておざります。其故家計は常に裕かならず。貧窮の證、殿の御目にさへ觸れ申して箇樣に御咎めを仰せ被りまいた段、誠に恐入つておざりまする」「爭で左樣なことおざらう。我等奉行として箇樣に美事の御武具を受取る事、前代未聞の事おざる。此旨は乾度進達仕つる」と、波岡權大夫は力を罩めて言つた。御目付多聞宮左衛門は、口を極めて正継の心懸を賞讃して、「其に就ても、何故御家內を御迎へならさぬか。是にも所謂おざらば、事の序に承はり度い」と尋ねた。正継は莞爾と笑つて、「貴殿ち慥か御子の在すと存ずるが、御內室御健かなれば、平左衛門が心腹は御分りおざるまい。後妻を迎へぬは、瞎我が子可愛いさの襲心おざるでさらば、放埒懦弱との御譏は、神以て身に覺えなき儀におざるよ」と、答へ去つた。両使は之を聽いて、深く殿の御不德が歎かはしかつた。更に足輕を集めて頭役替りの由を申し渡すに至つて、彼等が宛然考妣を喪ふ如き悲歎に沈んだので、益々平左衛門が非常の侍士でない事に感嘆した。平左衛門は君命なれば別に怨み存ずる節とてもなく、是より身を整して偏に譴責の解くる日を待つて居たが、「足下中川勘右衛門殿より御娘子を日來親しく言ひ交はす誰彼より、所望せられたを、見事斷られたと申すが、全く左樣おざつたか」と、推問せられた。平左衛門は彼の同朋が斡旋の顛末を語つて、不倫の縁組と存じた故、謹彼御遠慮申したよしを答へると、誰彼は面見合せて、「其が定おざらば、此も定めて異おざらう。中川今以て思ひ諦め申さず、今度は君命を以て殿中へ宮仕へを仰せ付けられ、其上にて君御嬖妁を以て、御娘子を勘右衛門に下さるやうとの結構、我等慥に聞及んでおざる」と告げ聞えた。

產科 婦人科　京城壽町四一　醫學士 二宮亮吉　二宮醫院　電話一二〇一番

◎東京共角堂機一宗匠選　九十會第三回選句

書初や至誠至忠の四大文字　水戸坊
氣も高く心正して試筆かな　國州
壽ほきて松竹梅さて試筆かな　天溪
數へ子の試筆に選む初字かな　桂舟
梅香の耳立つ余寒かな　島石
舞姫や蔵白くさ餘寒かな　若笑
室咲の手柄見せたる餘寒かな　非石
奴凧尻輕くくと上りけり　若笑
夕凧や日よりも高き紙鳶　天溪
漣や沖の小島に見ゆる凪　一笑
若鮎や石那々のいさら川　水戸坊
覗き影に小鮎渦くなり山の家　水戸坊
上り行く鮎に若瀬の水清し　豐堂
若鮎や二俣川の水荒き　可樂
紅梅や日のあたゝかき家構　默郎
さながらに嬰歯の如し月の梅　不枝
梅咲くや老の外出も久し振り　保々
南枝北枝今さゝのふや梅の花　非石
紅梅や誰やら覗く小柴垣　三答
灯を消せば梅が香ゆるゝ書院哉　桂舟
幼手にさ書添ゆる試筆哉　非石
暁の孤燈細りし餘寒かな　島石
天守閣匠しと鳴るや紙鳶　和山
若年魚や淺瀬見え透く二三寸　保々
弓に汗拭へば梅の薫りかな　水戸坊

人　三光
暮色のしたゝる如し筆始　若笑

地　くさくと餘寒なわびる翁哉　桂舟
天　月よりも鰐より梅の匂ひし　登定
評　七すの露に置く餘寒哉　選者

新刊紹介

▲警察行政述義　總論に於ては警察の性質制度作用を說き各論に於て保安風俗衛生交通產業等の警察行政を法規を引用して理論の叙述實務の資料共に解說する所明快なり（一圓十錢東京市牛込區矢來町四法制時報社）

▲なわすれ草　小女小說十五編を收む趣味津新にして家庭に於ける婦對修養に資する所少なからざるべし（三十五錢東京市日本橋區濱町二の一二須原啓興社）

▲新日本（五週年紀念號）　帝國外交の根本精神大隈伯、支那大觀永井柳太郎、大戰後の新文明後藤男、生理學上より觀たるカイゼル永井潛の外大戰後の國是を論ずる…諸名士の論說を載せ…を附錄せり（本號に限り四十五錢東京市神田區富山房）

▲模範國民の養成（公民講習叢書十四編）　國民の代表的階級たる中等社會を模範的國民の養成に關する教育方針を論じたり（高田早苗著 二十錢東京市麹町區內幸町一の五公民同盟出版部）

讀者の領分

▲一昨年より一種奇妙なるものを發見致し居り候其れは質に黒き地層が山より川に沿ひ長き三間巾一尺位のものありて其の川の邊に於ける泥土も亦真黒く是れを種々な形體に造り乾燥するときは恰かもかの如く硬固となり黒き光澤を放ち數年を經過しても破壞せず抑も是れは如何なる物質なるや御教示を乞ふ（黄州一探檢者）▲春が來た野にも來た山に來た、坐敷の障子を明けて南山を見ると心地よい今日此頃描宅の傍の草原へ印刷機械用の油雜巾を乾す者がある風向の都合で甚だしい惡臭が襲うて來る胸が惡い公德上然遠慮すべきだらう（一休庵）▲疑間に筆跡美しく『寒き夜を君が暖みの夢路哉』の短冊と又茶器の戸には『蓍の遠音を聞きつ茶の湯哉』とある此俳人は誰であらうか（一夜生）▲私は不幸にして學校へは行けません夜學に行く事を主人の許可を得ましたが何處か夜間教へて下さる所はありませんか（仁川酒屋の小僧）

七十八日遊記

定價七十五錢郵稅本社持

本書は德富蘇峰氏が支那旅行記にして久しく品切の處此度增補第四版印刷成り從前の定價を半減し特價七十五錢にて發賣せり當時氏の足跡朝鮮滿洲北淸より長江一帶に及び其人情風俗を察するの傍ら最も力を支那の過去現在將來の論究に注ぎたり其議論の堂々たる觀察の精緻なる世自ら定評あり今や添ふるに支那革命に關する著者の論文數章を以てしたれば錦上更に花を添ふるの觀あり久しく渴望せる江湖の讀書子を滿足せしむべく苟くも隣國の事に注目するの士は本書を讀まざる可らず

京城日報社代理部　振替口座京城三〇〇番

美人となる化粧料ホーカー液 廣告詠込懸賞俳句當選發表

今回募集せるホーカー液詠込懸賞俳句は投稿意外に多く爲めに發表期日遲延せしが漸く決定發表する事左の如し

注意
▲賞品は全部四月二十日前後に發送致すべく候
▲同點句は先着順に依れり
▲選者 朝鮮新聞社主筆任所

東京和泉橋　堀越嘉太郎商店

■壹等　五人（三越呉服店五圓切手一枚宛）
白粉の色香に優るホーカー液　札幌區南一　小山內かつら
雪の肌花のかほりやホーカー液　兵庫縣御代　正井紅子
花咲くや滿都に香るホーカー液　山梨縣鰍澤　井出紅牧丹
若菜摘む娘のたしなみやホーカー液　岩代國喜多方町　佐藤たい子
花ならば櫻の精やホーカー液　廣島市外二　土肥內吐月

■貳等　拾人（三越呉服店三圓切手一枚宛）
江戸の春ホーカー液の香に滿ちて　島根縣瀧遠代町　佐瀬香海
ホーカー液東國の春に迎へけり　靜岡市紺屋町　堀內德太郎
ホーカーに多を他處たる女かな　小石川第六天町　平石磊風
ホーカーをつけて小唄の茶摘かな　茨城縣吾妻生村　小川しやう
紅閨にホーカー液の薫りけり　大阪南本町　大井志郎
嫁菜摘む手にも艶ありホーカー液　仙臺市東一　古郷得太郎
年玉の包をとけばホーカー液　芝區琴平町　後藤雪江
うつり香にホーカー液や夜半の春　相州小田原　鈴木いせ子
鏡入の姉の土產やホーカー液　駒月元町　中井笑洋
鶯や薫り床しきホーカー液　高知縣下田大潟　島村丈夫

■三等　三十人（ホーカー液大瓶一本宛）
春雨や蛙の目にも匂ふホーカー液
ホーカーの匂ふ春夜の衣桁かな
ホーカー液月より花の雫かな
ホーカー液の化粧とや見む今朝の富士
ホーカー液の化粧に春を待つ夜哉
隣よりも姉は美しホーカー液
木枯やホーカーの瓶避けて吹く
ホーカー液匂ふ隣の一間かな
ホーカー液先づ調へて冬籠
ホーカーに化粧氣高し春の人
追羽子の美き子撰やホーカー液
黄昏や謡に床しホーカー液
睦じき家庭の春やホーカー液
年玉や匂ひ溢るゝホーカー液
ホーカー液縈羅る梅の日向哉
ホーカー液持つや花見の女達
ホーカー液に寒紅美し水仙花
ホーカーの移り香去年の袂に迷ふ
ホーカーの薫りも床し花の春
降る雪と白さ比べんホーカー液
ほの匂ふホーカー液や水仙花
朝風呂にホーカーの香や春の雨
ホーカーの匂ひ嬉しき朝化粧
ホーカーの香りや春の女風呂
ホーカーの香り漂ふ風かな
ホーカー液匂ふ風呂場や春の宵
ホーカー液隣の町に匂ひけり
逝春をホーカー塗けて惜みけり
すれ違ふホーカー液の香り哉
ホーカー液貰て花の留守居哉

福島縣喜多方町 丹藤露香　岡山縣矢掛町 大森竹緒　名古屋大井町 十寸穗　伊勢登川町 武田當百子　筑後大濱村 松村すみか　熊本市 長島光雄　愛媛縣瀧川村 大西定四郎　京橋區築地 荻原卜山　麹町紀尾井町 溪水　下谷谷一九五 野村芳香　大阪市外 割石佳笑　三重龜山町 櫻井翠松　長野長與村 丹羽敬二　名古屋市 柳之助　三重引本町 長井愛一　名古屋市 青蓮池人　廣島藝州島 船倉正曾　千住四の四四 吉田千代　京都市 巽野不二　大阪市 西尾武次　朝鮮淸州 片岡掉花　近江阪川村 小栗きぬ子　鳥取市 山田隆野　麻布霞町 加地しげ子　橫濱市 田中鳥濱　大阪道寺 古賀蕭　橫濱市 中島蕉耕　三重四日市 池內芙紗子　本郷元町 うさぎ　香川縣 澤東洋

■四等　五十人（ホーカー液小瓶一本宛）
■五等　百人（ホーカースキート一箱宛）

多數に付省略す、賞品の到着を以て選當と知られ度し

株式名義書換停止　本月廿五日ヨリ五月株主總會終了ノ日迄株式名義書換ヲ停止ス　大正五年四月　東洋拓殖株式會社

京日內案

普通（一回五十字以內金…錢無割引）

拔流行歌本類數十種病著賣切れぬ內に御覽下さい　京城本町二電二五二七　ウツボヤ書店 83

子供入用　十五六歲迄　京城本町明治町角　津村人參部 79

◎貸間を求む　付き三間許り淸潔なる貸間を求む（姓名在社） 80

店員入用　年齡十五六歲前後市內に人を要す保證當人來店　京城本町　大阪屋號書店 76

◎乳なき御方へ◎乳量豐富にて困難に付里子預りたし……明治町二の四明治旅館前中村方へ

◎入用　三十歲以上の裁縫師入用（但入込み）希望の方は來談あれ　京城新町　皆春樓 65

◎知人醫師開業地を求む　京城蓮南洞一二〇　香月　電話壹貳六九 61

▲古本買受▼　▲御報即時參上▼　▲地方即時送金▼　京城本町電話二五二七　ウツボヤ書店 18

◎古本一報次第即刻參上　品拂底に付無比高價買入　▲京城本町四　電話二七八一番　書肆群書堂 40

店舗讓受　營業の種類を問はず至急讓受たし秘密に御相談申候　明治町口入業萬年社　電話一八四四 44

番外（一回前金六十錢無割引　匿名一回拾錢金五錢增）

▲旋盤工を需む　京城古市町三十七番地　自動車修理所 82

▼鑛物各種分拆　京城太平町二の一二五　坂本分拆所 49

▼讓店アリ▲　各種商業に好適の店舗陳列戸棚及び造作付裏庭に完全なる倉庫專用水道設備あり　黃金町二　姓名在社 71

產婆、マッサージ　▲南山町三丁目消防詰所前に轉居　電話一四四〇番　三浦小糸 497

本店新製　クリームキヤラメル　大拾錢 小五錢　パン元祖 木村屋支店　京城明治町　電話二八七〇 22

皮膚病 花柳病 專門　京城永樂町一商品陳列館坂の上　須古醫院　電話二一〇三番 25

子供入用　年齡十二三歲以上十五六歲迄小學卒業程度の者市內に確實なる保證人を要す　京城本町一丁目　ますや吳服店 69

▲元遞信技師高原電氣工業所製造　サクラ乾電池　平角三號 價九拾錢　遞信局鐵道局御用品　京城黃金町三　巴商行電氣部　電話一四二五 435

◎渡邊藥劑師　痳病梅毒妙藥　責任製劑　京城南大門三丁目　電話二五八三番　救世藥舘 446

好職　利益多大美術ゴム事業　男女誰でも出來本業又は副業に適す志望者は來店又は郵券十錢送れ案內書及製品見本急送呈す　京城太平通二丁目大漢門前　太陽ゴム商會 32

內科 小兒科 門 病 肺病 ……　京城本町二丁目元中島病院跡（入院隨意）　山田醫院　電話二八〇八番 23

恩給 年金 低利 ……　京城若草町　西村商會 24

▲龍山　むしぶろ　▲子宮 ▲かつけ ▲りよまち ▲婦人ひえしよう ▲其他諸病に特効あり ▲是非一度御入浴試諸病を全治あれ ▲むしぶろ 72

次女經子儀豫て病氣の處去月十九日死去致候間此段謹告候也　追て葬儀は來十三日午後三時西本願寺に於て相營み途中行列を廢し候

父　馬場卯之助
親族友人　一同

養父仁太郎儀兼て病氣の處去る九日鄕里米澤に於て病死致候間此段辱知諸彥に謹告仕候也
四月十日
親戚總代　原井親雄　廣新藏
友人總代　宇佐美勝夫　小林盛衛　遠藤達　瀨川平造　板東義雄　田中丸治平　高野省三　山口友造

葬具一式　造花、生花、花環、寄贈品、裝飾品、其他供物一切　親切丁寧は本社の主旨に候間御用命奉希上候　京城永樂町二丁目　大葬社　電話一〇五六番

大阪商船仁川出帆

○外國航路（遠洋航路を除く）聯絡切符發賣仕候

×○安東丸	群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行	四月十四日	午後五時出帆
須摩丸		四月十七日	
×天智丸		四月二十日	
○木浦丸	釜山、長崎、嚴原、鄕の浦行		
×信濃川丸		四月廿三日	後二時出
×信濃川丸		五月十一日	後二時出
○鎮南浦丸	大連行		
○信濃川丸		四月十八日	後二時出
×信濃川丸		五月六日	後二時出
○木浦丸	大阪直航		
宮島丸		四月十七日	後五時出
○大連直行			
△潮州丸		四月十七日	正午出帆
×福州丸		四月廿七日	
○群山、釜山、仙崎行			
△潮州丸		四月廿二日	午後二時出帆
×福州丸		五月二日	
○淸津、浦潮行（元山出帆）			
▲城津、西湖津ニ寄港浦潮不寄港			
▲宮島丸		四月廿九日	午後二時出帆
平安丸		四月十五日	
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）			
基隆丸		四月十二日	後十時出
城津丸		四月廿三日	後四時出

御注意
○滿鐵道及南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣仕候
○御乘船客は本船川帆約一時間前迄に
○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二〇番五〇
京城切符發賣所　內國通運會社支店　電話七〇八番
▲中國四國沿岸各港行船客に對し當分門司迄一割引の運賃を以て連絡乘船切符發賣仕候

阿波共同汽船仁川出帆

大連、芝罘行　共同丸　四月　日　後三時入港
朝鮮郵船會社釜山丸　大連にて青島行定期船に接續…
第一 阪鶴丸　城津、淸津、浦鹽行（元山出帆）　月　日後九時出港
第三　西湖津沿岸各港を經て雄基行　月　日前八時出帆

阿波國共同汽船株式會社　本町一丁目（電話一〇八番）
仁川代理店 山下回漕部
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 南大門電話（二六八、二〇一七）河村運送店

朝鮮郵船

本社 電話長一九五二番二三番

全羅丸		四月十二日	釜山發
京畿丸		四月廿二日	
黃海丸		四月廿二日	
咸鏡丸		四月十六日	
咸鏡丸	門司より各港寄港		
釜山			
平城丸		四月十三日	元山發
昌平丸		四月十一日	
鏡城丸		四月十七日	
元山より各港經由雄基行			
忠淸丸		四月十二日	元山發
平壤丸	城津沿岸經由	四月廿一日	元山發
永興丸	北久茂、五里浦行	毎月廿八回	元山發
益箇丸	甘浦、九龍浦、浦項各港寄港	四月十一日	釜山發
江陵丸			
襄陽丸		毎日	（釜山浦項）發
三浦丸	長承浦、麗水、巨文島、濟州島各港行	四月十一日	釜山發
濟州丸			
統營丸	各港經由麗水行（三回目一回木浦行）	毎日	釜山發
巨濟丸			
慶興丸			
順天丸	各港經由麗水行麗水より釜山行に接續	三日目毎	木浦發
慶興丸	各港經由濟州島行（四回）	四月九日	木浦發
公州丸	南多島海列島行（月三回）	四月十四日	木浦發
公州丸	各港經由濟州島行（東廻）	四月十二日	木浦發
宗信丸	海州仙各港經由、鎮南浦又は白翎島行	四月十二日	仁川發
江原丸	黄島、大連、芝罘行	四月十七日	仁川發
麗水丸		四月十一日	仁川發
晉州丸	各港經由木浦行	四月十七日	
錦江丸		毎日午前	仁川發
南陽丸	江華島、樞密島、海州行		
平安丸	往航 大黑山、木浦、門司、若松行　復航 門司、木浦、群山行	四月廿四日　四月十八日	群山發　若松發

京城南大門前　京城取次店　松原運送店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行　立神丸　四月　日後五時出帆
○元山淸津浦鹽行　立神丸　月　日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行　小倉丸　月　日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行　小倉丸　四月廿六日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行　第三琴平丸　月　日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　四月　日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天真丸　毎月二日九日十六日廿一日廿六日　午後十時出帆

釜山本町　大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
大正丸　四月十一日後四時出帆
大有丸　四月十八日後四時出帆
大代丸　月　日後四時出帆
鮫龍丸　月　日後四時出帆
君が代丸　月　日後四時出帆

仁川港　杉回漕部

商況

仁川米豆取引所

[illegible]